

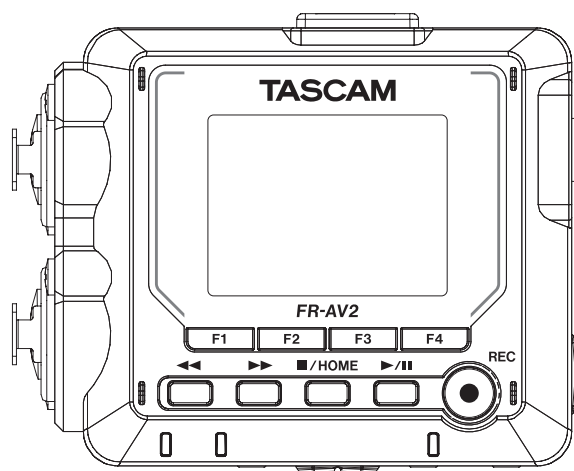
TASCAM

D01418701B

FR-AV2

Linear PCM Recorder

取扱説明書



目次

1-1. 本製品の構成	4	5. 接続	20
1-2. 本機の特徴	4	5-1. 接続例	20
1-3. 本書の表記	5	5-2. 外部マイク / 外部機器を接続する	20
1-4. 商標および著作権に関して	5	外部マイクを接続する	20
1-5. microSD カードについて	6	プラグインパワーを必要とするマイクを接続する	20
取り扱い上の注意	6	MS マイクを接続する	20
フォーマットについて	6	外部機器を接続する	21
1-6. 別売品	6	5-3. カメラと接続する	21
USB ケーブル (通信用またはデータ転送用) について	6	カメラ用に出力を設定する	21
AC アダプター (PS-P520U) について	6	5-4. モニター用機器を接続する	21
Bluetooth® アダプター AK-BT2 について	6	5-5. ヘッドホン出力の音量を調節する	21
電池	6	5-6. パソコンやスマートフォンと接続する	22
2. クイックスタートガイド	7	5-7. タイムコード同期をする	22
2-1. microSD カードを入れる	7	タイムコードを受信する	22
2-2. 電池をセットする	7	タイムコードを送信する	22
2-3. 外部マイクを接続する	7	タイムコード接続例	23
2-4. 電源をオンにする	7	6. 入出力設定	24
2-5. 日時を設定する	7	6-1. 各入力で入力設定する	24
2-6. microSD カードをフォーマット (初期化) する	8	録音レベルを調節する (REC LEVEL)	24
2-7. HOME 画面	8	GANG 動作モードの設定 (GANG)	24
2-8. 録音レベルを調節する (REC LEVEL)	8	録音するチャンネルを設定する (REC ENABLE)	25
2-9. 録音する	8	録音する入力ソースの設定 (INPUT)	25
2-10. 録音したファイルを再生する	9	ステレオリンク (STEREO LINK)	25
2-11. ヘッドホンで音を聞く	9	ファンタム電源を使う (PHANTOM)	25
2-12. Bluetooth 対応イヤホン / スピーカーで聞く	9	プラグインパワーを設定する (PLUG IN POWER)	25
2-13. タイムコードを使用する	10	各マイクの距離を補正する (DELAY)	25
2-14. 電源をオフ (スタンバイ状態) にする	11	ローカットフィルターの設定 (LOW CUT)	25
3. 各部の名称と働き	12	リミッターの設定 (DYNAMICS)	25
3-1. トップパネル	12	イコライザーの設定 (EQ)	26
3-2. ボトムパネル	12	ノイズゲートの設定 (NOISE GATE)	26
3-3. 左サイドパネル	12	入力の位相を反転させる (PHASE INVERT)	26
3-4. 右サイドパネル	13	6-2. ファンタム電源の状態確認と設定	27
3-5. フロントパネル	13	6-3. ファンタム電源の電圧値の設定	27
3-6. リアパネル	13	6-4. MS デコード機能を使う	28
4. 準備	14	接続設定	28
4-1. microSD カードを入れる / 取り出す	14	MID と SIDE のレベル調節	28
microSD カードを入れる	14	6-5. 音量調節	29
microSD カードを取り出す	14	GANG 動作	29
4-2. 電源の準備	14	出力の音声 (OUTPUT)	29
電源について	14	MID と SIDE のレベル調節 (MS WIDE)	29
単 3 形電池で使用する	14	LIMITER	29
AC アダプターで使用する (別売)	15	DELAY	29
USB パスパワーを使用する	15	6-6. 入力設定の保存と呼び出し	30
4-3. 電源をオンにする / オフにする	15	プリセットを保存する	30
電源をオンにする	15	プリセットを呼び出す	30
電源をオフ (スタンバイ状態) にする	16	7. 録音	31
リジューム機能	16	7-1. 録音について	31
日時を設定する	16	録音待機機能 (REC PAUSE MODE)	31
microSD カードをフォーマット (初期化) する	16	録音ホールド機能 (REC HOLD)	31
4-4. HOME 画面	17	録音動作の流れ	31
アイコン	17	7-2. 録音中の各ボタンの動作	32
STOP 状態	17	8. 録音設定	33
REC / REC STANDBY / REC PAUSE 状態	17	8-1. 各入力のモニターをする (SOLO)	33
4-5. 基本操作	18	8-2. 録音ファイルのフォーマットを変更する	33
設定項目選択手順	18	8-3. 録音中に一時停止する (REC PAUSE MODE)	33
PLAY / PAUSE / FF / REW 状態	18	8-4. 録音開始の少し前から録音する (PRE REC)	33
スライダー	19	8-5. 録音ファイルの名前について	33
スライドスイッチ	19	8-6. 録音フォルダーを指定する	33
文字入力	19	8-7. 録音を続けたままファイルを切り換える (ファイルリンク リメント機能)	33
ポップアップ表示	19	8-8. 録音時間	34

9. 再生	35	13-5. オーディオインターフェースとして使用する	45
9-1. 再生画面を開く	35	FR-AV2 USB オーディオのチャンネルアサイン	45
画面の説明	35	本機の入力をパソコンへの入力音声として使う場合	45
再生 / 一時停止	35	パソコンの出力を本機への入力音声として使う場合	45
停止する	35	14. リモートコントロール機能	46
再生位置を移動する (早戻し / 早送り)	35	14-1. 専用コントロールアプリをインストールする	46
再生するファイルの選択	35	14-2. 本機と Bluetooth 接続する	46
早戻しサーチ / 早送りサーチする	35	14-3. 専用コントロールアプリと接続する	47
10. ファイル操作	36	14-4. Atomos 社の対応製品とのワイヤレスタイムコード同期	47
10-1. ファイル名について	36	Atomos 社の対応製品と接続する	47
ファイル名の付け方を変更する	36	15. タイムコード機能	49
ファイル番号を設定する	37	15-1. TIMECODE の選択	49
10-2. ファイル・プロジェクト構造について	37	TC MODE	49
フォルダー	37	MASTER	49
録音データ	37	COUNTER VIEW	49
10-3. フォルダーツリーの例	37	有線で TIMECODE を受信する	50
10-4. プロジェクトについて	38	Bluetooth で TIMECODE を受信する	50
10-5. BROWSE 画面の使い方	38	TIMECODE を出力する	50
10-6. フォルダーの操作	38	TIMECODE 情報	51
画面の説明	38	FRAME RATE	51
フォルダーの移動	38	タイムコードの設定	51
ファイル簡易再生	39	16. ワイヤレスオーディオモニタリング機能	52
フォルダーメニュー	39	16-1. ワイヤレスオーディオモニタリング	52
フォルダーの作成 (NEW FOLDER)	39	ペアリング	52
フォルダーの名前変更 (RENAME)	39	ペアリング済み機器との接続	52
フォルダー内のファイル全削除 (ALL FILES DELETE)	40	ペアリング情報を削除する	52
フォルダーの削除 (FOLDER DELETE)	40	品質設定 (QUALITY)	53
10-7. ファイル・プロジェクトの操作	40	17. 各種設定	54
ファイルメニュー	40	17-1. 各種情報を表示する	54
選択 (SELECT)	40	17-2. 日時の再設定	54
プロジェクトを削除する (FILE DELETE)	40	17-3. 出荷時の設定に初期化する	54
名前変更 (RENAME)	41	17-4. microSD カードをフォーマットする	54
プロテクト設定、解除 (CHANGE PROTECT)	41	17-5. オートパワーセーブ機能を使う	54
ファイル情報 (FILE INFORMATION)	41	17-6. 電源の選択	54
マーク一覧を見る (MARK)	41	17-7. 単 3 形電池の種類を設定する (電池タイプ)	54
マークの削除	41	17-8. ユーザー設定の保存と呼び出し	54
10-8. 録音プロジェクトの保存先を指定する	41	17-9. パワーセーブ (省電力) モードについて	55
11. マーク機能	42	17-10. ディスプレーのコントラスト調節 (コントラスト)	55
11-1. マークの種類	42	17-11. MENU	56
11-2. マークをつける	42	17-12. BROWSE	57
自動でマークをつける (TIME MARK)	42	17-13. INPUT SETTINGS	58
ピークレベル時にマークをつける (PEAK MARK)	42	MANUAL EQ	58
手動でマークをつける	42	17-14. OUTPUT SETTINGS	58
11-3. マークを消去する	42	18. メッセージ	59
マークの一括削除	42	19. トラブルシューティング	60
11-4. 設定したマークへジャンプする (MARK SKIP MODE)	42	20. 仕様	62
11-5. マークのリスト表示	42	20-1. 仕様 / 定格	62
12. カメラ機能	43	レコーダー部仕様	62
12-1. カメラ用に出力を設定する	43	アナログオーディオ入力定格	62
12-2. オートトーン機能を使う (SLATE TONE・AUTO)	43	アナログオーディオ出力定格	62
オートトーン機能 (AUTO)	43	USB	62
トーンの音量調節機能 (LEVEL)	43	USB オーディオ	62
オシレータ機能 (OSCILLATOR)	43	タイムコード入力 / 出力	62
13. USB 接続	44	Bluetooth 機器接続端子	62
13-1. パソコンと接続する	44	オーディオ性能	63
13-2. iOS デバイスと接続する	44	録音時間	63
13-3. パソコンから microSD カードにアクセスする	44	OS / 動作条件	63
パソコンとファイルをやり取りする	44	一般	64
13-4. ASIO ドライバを使用する	44	20-2. 寸法図	64

1.はじめに

このたびは、TASCAM FR-AV2をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイトからダウンロードすることができます。



FR-AV2

<https://tascam.jp/int/product/fr-av2/docs>

1-1. 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。


開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本体 × 1

セーフティガイド（保証書付） × 1

TASCAM ID 登録ガイド × 1

1-2. 本機の特徴

- 2.0 インチのカラースクリーンを採用し、高い視認性を実現
- 2系統の XLR ロック付き入力端子を装備し、複数のマイク / ライン入力を使用する収録にも対応。各系統別にファンタム電源 (24V/48V) に対応
- 最大 192 kHz/32-bit float (浮動小数点演算) の録音に対応。録音データの音質を損なうことなく、DAW ソフトでの音声編集が可能
- 2-in/2-out の USB オーディオインターフェース機能を搭載
- 別売 Bluetooth® アダプター「AK-BT2」の装着により、リモートコントロールアプリ「TASCAM RECORDER CONNECT」から最大 5 台¹ の同時制御・監視が可能。また、Atomos 社製品とのワイヤレスタイムコード同期に対応²
- 別売 Bluetooth アダプター AK-BT2 を取り付けることで、無線で入力信号のモニターや再生音を聞くことができます。
- ローカット、コンプレッサー、リミッター、ノイズゲートなど多彩な機能を搭載
-  /EXT/TC IN 端子を装備。カメラ本体の収録音の出力、ワイヤレスマイクの出力やプラグインパワーマイクからの音声出力などに対応
- 減衰機能を備えた CAMERA/LINE 出力端子を装備し、カメラなどの外部機器に音声を出力可能
- ヘッドホン出力、Bluetooth による無線（別売の AK-BT2 使用時）による音声モニタリングが可能
- microSD/microSDHC/microSDXC（最大 512GB）の記録メディアに対応
- USB Type-C 端子を装備。USB バスパワー駆動にも対応
- 単 3 形電池 3 本で 9 時間以上³ の長時間駆動が可能
- 多彩なマーク機能やオートスレートトーン機能を搭載
- 録音時のメタデータ（WAV ファイルの BEXT、iXML）記録に対応

¹ 接続台数は周囲の環境や電波状況により変わる場合があります。

² AK-BT1 でもリモートコントロール、または、ワイヤレスタイムコード同期のどちらかの使用は可能です。

³ 電池持続時間は、お使いの電池・記録メディアや設定により変動する場合があります。

1-3. 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 「microSD/microSDHC/microSDXC メモリーカード」のことを「microSD カード」と表記します。
- 本機と Bluetooth で接続するスマートフォンやタブレットなどを「Bluetooth 機器」と表記します。
- 1 回の録音時に作成されるファイルをまとめて「プロジェクト」と表記します。
- 現在選択中のプロジェクトのことを「カレントプロジェクト」と表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を「OK」のように表記します。
- 本書の「iOS」の表記には、「iOS」および「iPadOS」を含んで表記しています。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

⚠ 注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

1-4. 商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- microSDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。



- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iOS、iPad、iPadOS および iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- Lightning は、Apple Inc. の商標です。
- IOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android、Google Play は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、ティアック株式会社は許可を受けて使用しています。
- ASIO is a trademark and software of Steinberg Media Technologies GmbH.



- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。したがって、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

1. はじめに

1-5. microSD カードについて

本機で録音、再生を行うために microSD カードが必要です。別途ご用意ください。

使用できる microSD カードは、Class10 以上の microSD / microSDHC / microSDXC 規格に対応した microSD カードです。本機にて動作が確認された microSD カードのリストが、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/int/product/fr-av2/docs>) に掲載されています。もしくは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

取り扱い上の注意

microSD カードは、精密にできています。microSD カードの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点にご注意ください。

- 極端に温度の高いあるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと。
- 持ち運ぶ際、メモリーカードケースなどに入れて運ぶこと。

フォーマットについて

本機でフォーマットされた microSD カードは、録音時の性能向上のために最適化されています。そのため、本機で使用する microSD カードは本機でフォーマットを行ってください。パソコンなどでフォーマットされた microSD カードは、本機での録音時にエラーになる可能性があります。

1-6. 別売品

本製品には、以下の部品は含まれておりません。ご使用の用途に合わせて、必要なものを別途お買い求めください。

USB ケーブル(通信用またはデータ転送用)について

本機とパソコン (Windows/Mac) やスマートフォンを接続する場合、別途 USB ケーブル (USB-IF 認証品を推奨) を用意する必要があります。

本機は USB Type-C 端子を装備しています。

お使いのパソコンやスマートフォンの USB 端子に合った USB ケーブルをご用意ください。

- 充電用 USB ケーブルは使用できません。

Lightning 端子を搭載する iOS デバイスと接続する

Apple 純正 Lightning - USB カメラアダプタと市販の Type-A - Type-C ケーブルが必要です。

USB Type-C 端子を搭載するパソコンやスマートフォンと接続する

市販の Type-C - Type-C ケーブルが必要です。

USB micro-B 端子を搭載するスマートフォンと接続する

市販の micro-B - Type-C ケーブルが必要です。

USB Type-A 端子を搭載するパソコンと接続する

市販の Type-A - Type-C ケーブルが必要です。

AC アダプター (PS-P520U) について

本機を AC 電源で動作させるために必要です。

メモ

本機には、AC アダプターを使用して充電機を充電する機能はありません。

Bluetooth® アダプター AK-BT2 について

AK-BT2 を本体に装着することで、Atomos 社製品とのタイムコード同期やスマートフォン・タブレットからのワイヤレスリモートコントロール¹が可能になります。

また、Bluetooth ヘッドホンや Bluetooth スピーカーと接続することで、無線で入力信号のモニターや再生音を聞くこともできます。

¹ リモートコントロールアプリ「TASCAM RECORDER CONNECT」から最大 5 台の同時制御・監視が可能です。

電池

本機を電池で動作させる場合は、電池を 3 本ご用意ください。

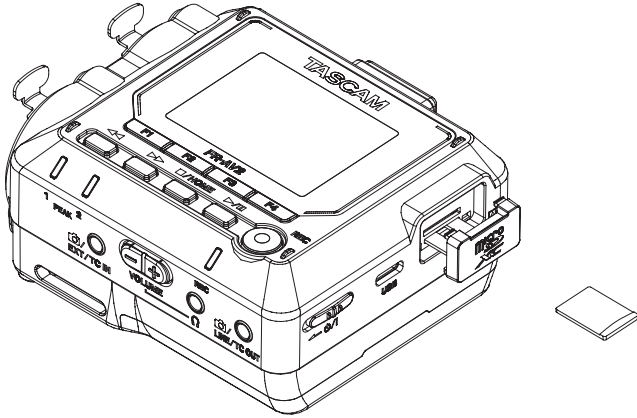
電池は、単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形ニッケル水素電池またはリチウム乾電池を使用することができます。

2. クイックスタートガイド

電源に電池を使用し、本機に XLR マイクを接続して録音再生をする手順を説明します。

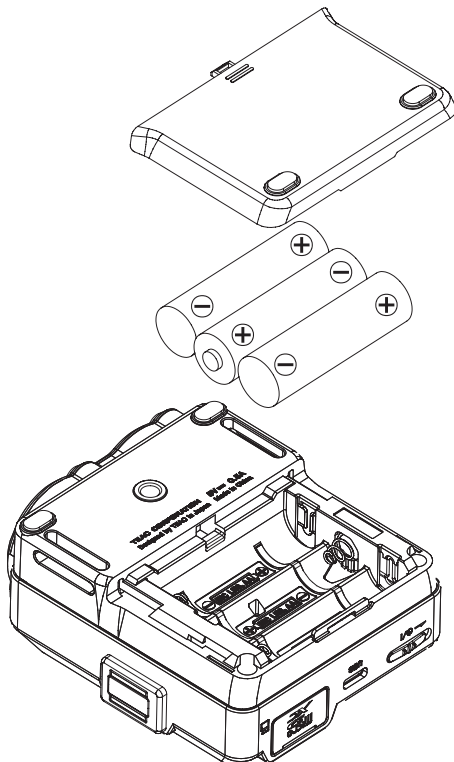
2-1. microSD カードを入れる

本機で再生/録音を行うには、右サイドパネルの microSD カードスロットに microSD カードを挿入します。



2-2. 電池をセットする

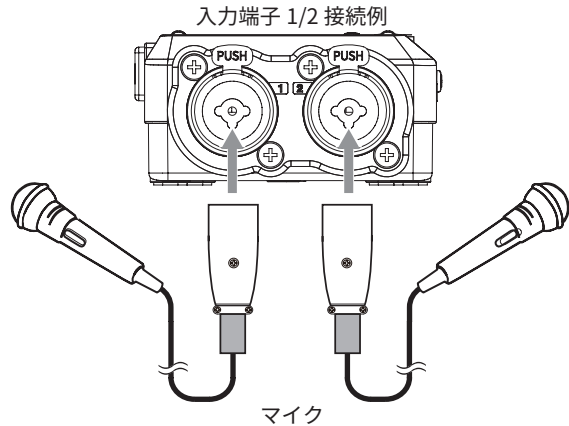
電池ケースに単 3 型電池を 3 本セットします。



アルカリ電池以外を使用する場合は電池の種類を設定する。(54 ページ「17-7. 単 3 形電池の種類を設定する (電池タイプ)」)

2-3. 外部マイクを接続する

本機に 1 本または 2 本のマイクを接続します。



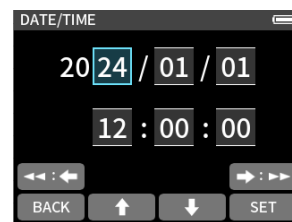
2-4. 電源をオンにする

ON スイッチを ← マーク方向にスライドさせ、画面が表示されたら離してください。



2-5. 日時を設定する

日時設定がリセットされているとき、日時を設定する日時設定画面が表示されます。



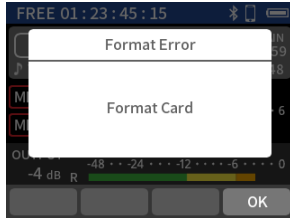
- F2 [↑] / F3 [↓] ボタンを使って数字を変更
- ◀ [←] / ▶ [→] ボタンを使ってカーソルを移動
- F4 [SET] ボタンを押して確定

2. クイックスタートガイド

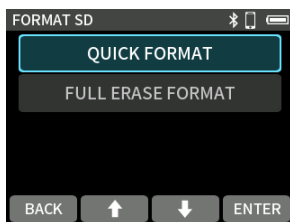
2-6. microSD カードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないカードが挿入されていると以下のようなメッセージが表示されます。

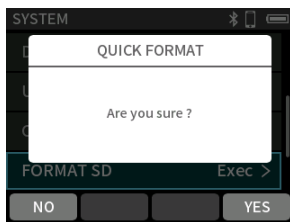
F4 [OK] ボタンを押してフォーマットを実行します。



1. 「QUICK FORMAT」または「FULL ERASE FORMAT」を選択する。



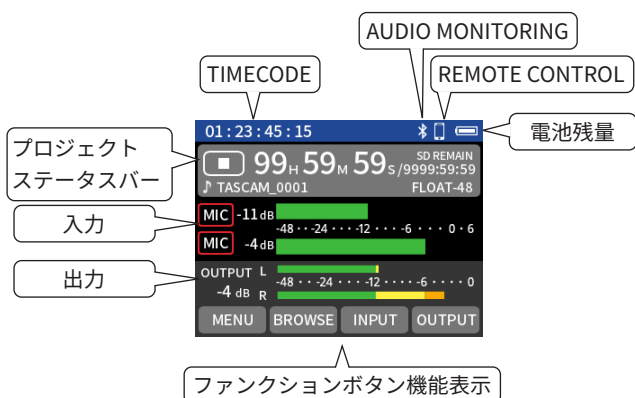
2. F4 [YES] ボタンを押す。



注意

フォーマットすると microSD カードの全てのデータが消去されます。

2-7. HOME 画面

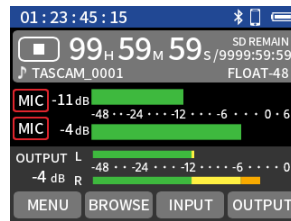


メモ

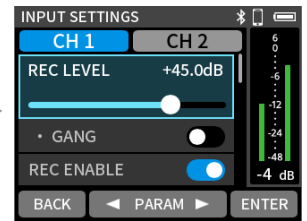
- HOME 画面の詳細は、17 ページ「4-4. HOME 画面」をご参照ください。
- 設定画面の操作方法は、18 ページ「4-5. 基本操作」をご参照ください。

2-8. 録音レベルを調節する（REC LEVEL）

STOP 状態の HOME 画面



F3 [INPUT] ボタンを押す。



F4 [ENTER] ボタンを押してから、音声信号レベルを F2 [◀PARAM] / F3 [PARAM▶] ボタンを操作して調節する。調節したら F4 [ENTER] ボタンを押す。

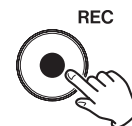
- ステレオリンクがオフのときは、◀◀ / ▶▶ ボタンで設定するチャンネルを選択します。

メモ

- ファンタム電源を必要とするマイクを使用するときはファンタム電源の設定をしてください。（27 ページ）
- 各入力の設定は、24 ページ「6-1. 各入力で入力設定する」をご参照ください。
- 録音の設定は、33 ページ「8. 録音設定」をご参照ください。

2-9. 録音する

1. REC [●] ボタンを押して録音を開始する。



2. 録音を停止するには、■/HOME ボタンを録音が停止するまで押し続ける。



メモ

録音操作については、31 ページ「7-1. 録音について」をご参照ください。

2-10. 録音したファイルを再生する

1. 停止中／一時停止中に ▶/|| ボタンを押すと、再生を始めます。



2. 再生中に ■ /HOME ボタンを押すと、再生を停止します。

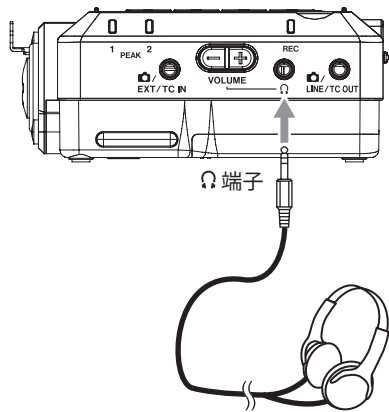


メモ

再生操作については、35 ページ「9. 再生」および 36 ページ「10. ファイル操作」をご参照ください。

2-11. ヘッドホンで音を聞く

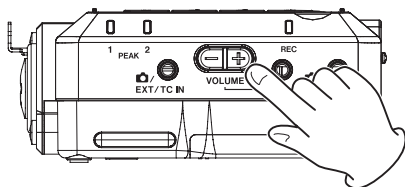
1. φ 3.5 mm (1/8") ステレオミニプラグのヘッドホンを接続します。



注意

ヘッドホンを耳に着けたまま、電源のスタンバイ / オンや、ヘッドホンプラグの抜き差しを行わないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。必ず音量を最小 (0) まで下げてからヘッドホンを装着してください。

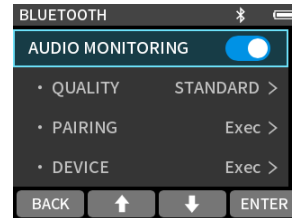
2. Ω (ヘッドホン) ボリュームの + / - を押して音量を調節します。



2-12. Bluetooth 対応イヤホン / スピーカーで聞く

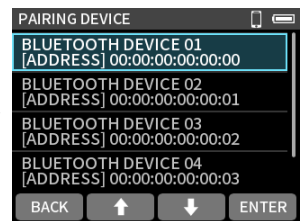
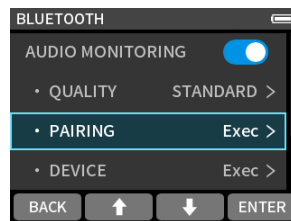
Bluetooth 対応イヤホン / スピーカー等を Bluetooth 通信状態に設定し、MENU > Bluetooth の設定を行い、本機と接続してください。

1. AUDIO MONITORING : ON



2. ペアリング

BLUETOOTH 画面

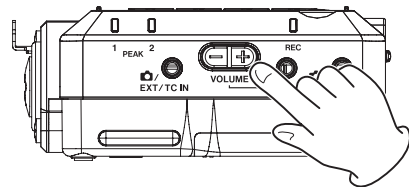


PAIRING を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

接続する機器を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

- ペアリング済みの機器と接続する場合は「DEVICE」より選択してください

3. 接続後は (ヘッドホン) ボリュームの + / - を押して音量を調節します。



詳しくは 52 ページ「16-1. ワイヤレスオーディオモニタリング」ニタリング」をご参照ください。

2. クイックスタートガイド

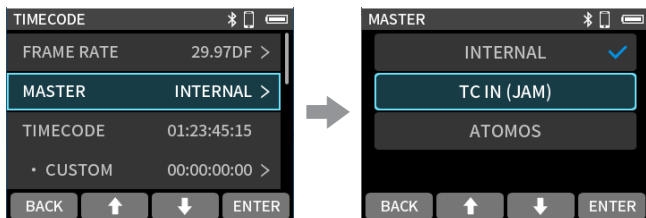
2-13. タイムコードを使用する

MENU > TIME CODE の設定画面より、下記の設定を行ってください。

- 有線で TIMECODE を受信する場合

1.

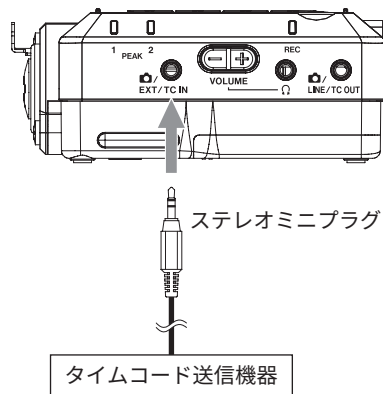
TIMECODE 画面



MASTER を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

「TC IN (JAM)」を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

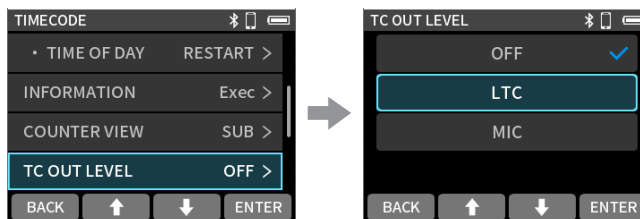
2.



- 有線で TIMECODE を出力する場合

1.

TIMECODE 画面

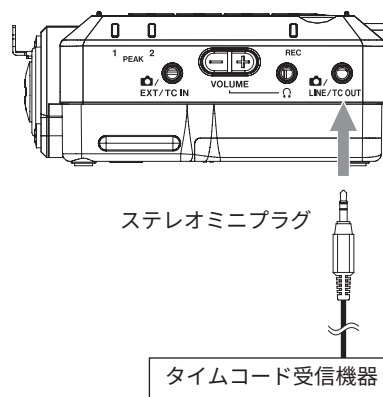


TC OUT LEVEL を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

「LTC」または「MIC」を選択
し F4 [ENTER] ボタンを押す。

「OUTPUT」の設定はタイムコード受信機器の入力の仕様に合わせて選択してください。

2.

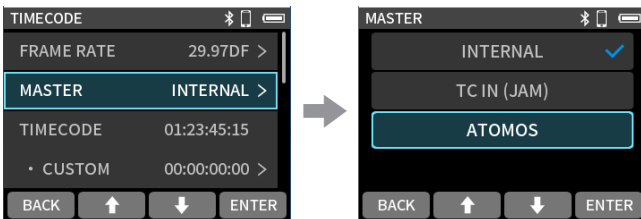


詳しくは 49 ページの「15. タイムコード機能」をご参照ください。

- Bluetooth で TIMECODE を受信する場合

1.

TIMECODE 画面

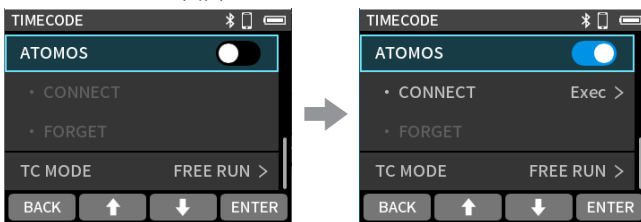


MASTER を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

「ATOMOS」を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

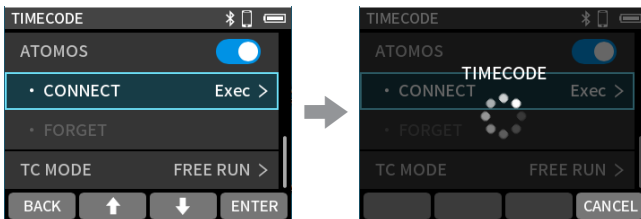
2. TIMECODE>ATOMOS を ON に変更します。

TIMECODE 画面



F4 [ENTER] ボタンを押す。

3. ATOMOS・CONNECT を選択し、ENTER を押してペアリング
します。



ATOMOS・CONNECT を選択
し F4 [ENTER] ボタンを押す。

ペアリングが完了すると
CONNECT がグレーアウト表
示になります。

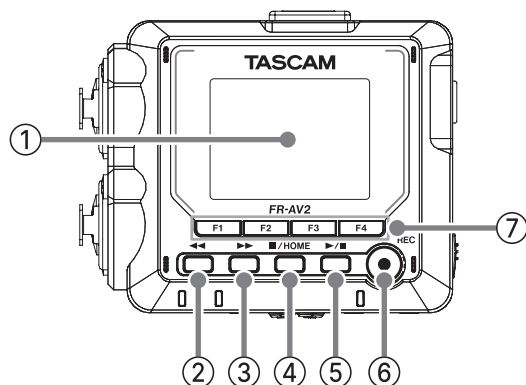
詳しくは 44 ページ「14-4. Atomos 社の対応製品とのワイヤレ
スタイムコード同期」をご参照ください。

2-14. 電源をオフ(スタンバイ状態) にする

電源スイッチを ← マーク方向にスライドさせ、画面が消えたら離
してください。

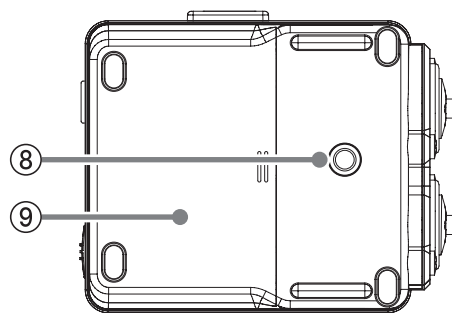
3. 各部の名称と働き

3-1. トップパネル



- ① **ディスプレイ**
各種情報を表示します。
- ② **◀◀ ボタン**
再生中、停止中に押すと、早戻しを行います。
早戻し中に押すと、早戻し速度が上がります。
早送り中に押すと、早送り速度下がります。
再生中、停止中、早戻し中に押し続けると、早戻しサーチを行います。
- ③ **▶▶ ボタン**
再生中、停止中に押すと、早送りをを行います。
早送り中に押すと、早送り速度が上がります。
早戻し中に押すと、早戻し速度下がります。
再生中、停止中、早送り中に押し続けると、早送りサーチを行います。
- ④ **■/HOME ボタン**
再生中に押すと、再生を停止し、再生位置はそのファイルの先頭に戻ります。
録音待機中または録音中に押すと録音を停止します。
HOME 画面以外の画面を表示中に押すと、HOME 画面に戻ります。
- ⑤ **▶/|| ボタン**
停止中に押すと、再生を始めます。
再生中に押すと、一時停止します。
ブラウズ画面でファイルを選択した状態で押すとそのファイルを再生します。
録音中に押すと、録音待機状態になります。
録音待機機能の設定によって動作が変わります。詳しくは、31ページの「録音動作の流れ」をご参照ください。
- ⑥ **REC[●] ボタン**
停止中に押すと録音を開始します。
- ⑦ **ファンクションボタン (F1、F2、F3、F4)**
ディスプレイに表示している画面によって、それぞれのボタンに割り当てられる機能が変わります。
ディスプレイの画面下部に現在割り当てられている機能のアイコンが表示されます。
TC MODE が「OFF」以外の時、F4 ボタンを押し続けることで COUNTER VIEW 設定を変更し、HOME 画面上のカウンターとタイムコードの表示位置を入れ換えることができます。

3-2. ボトムパネル



⑧ 三脚取り付け用穴 (1 / 4 インチ)

本体に三脚を取り付けることができます。

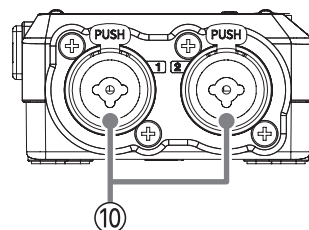
注意

- 本体の落下を防ぐため、三脚またはマイクスタンド各部のネジを確実に締めてください。
- 三脚またはマイクスタンドに本体を取り付けて使用する場合は、三脚を水平な場所に置いてください。
- 三脚によってはネジの規格の違いにより、直接取り付けられない場合があります。その場合は、市販の変換アダプターをご使用ください。
- 長さ 4.5 mm を超えるネジは取り付けできません。

⑨ 電池ケース (単 3 形電池)

本機の電源になる電池 (単 3 形電池、3 本) を収納するケースです。

3-3. 左サイドパネル



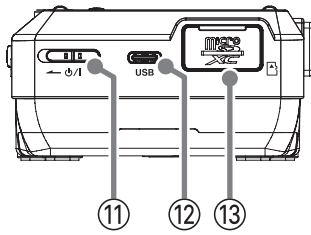
⑩ 入力端子 1/2 (入力 1/2)

XLR バランスタイプのアナログマイク入力と、TRS 標準ジャックのバランスアナログ入力端子です。

XLR (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)

TRS (Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

3-4. 右サイドパネル



⑪ ㊦/I スイッチ

このスイッチを ← マーク方向にスライドさせて、電源のオン/オフ（スタンバイ状態）の切り換えを行います。

⚠ 注意

電源を入れる前に、接続機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

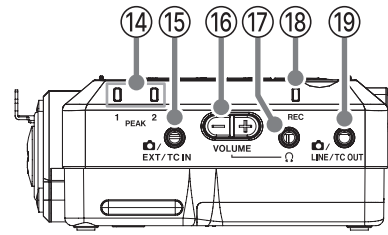
⑫ USB Type-C 端子

Type-C の USB ポートです。
市販の USB ケーブルを使って、パソコンやスマートフォンと接続することができます。(22 ページ)
AC アダプターを使用するときはこの端子に接続します。(15 ページ)

⑬ microSD カードスロット

microSD カードを挿入するカードスロットです。

3-5. フロントパネル



⑭ PEAK 1/2 インジケーター

入力レベルがピークレベルを超えると点灯します。

⑮ ㊦/EXT/TC IN 端子

ステレオミニジャックケーブルを使用してオーディオ機器などのライン
出力端子やプラグインパワー対応外部マイク（3.5mm TRS）、
タイムコード送信機を接続することができます。

⑯ ㊦ (ヘッドホン) ボリューム

㊦ (ヘッドホン) 端子およびワイヤレスオーディオモニタリング
に出力される音量を調節します。

⑰ ㊦ (ヘッドホン) 端子

ヘッドホンを接続する端子です。

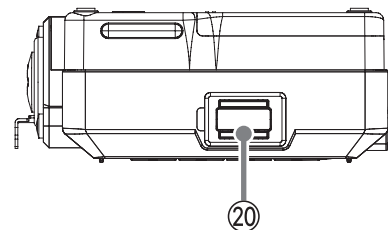
⑱ REC インジケーター

録音待機状態になると点滅し、録音状態になると点灯します。

⑲ ㊦/LINE/TC OUT 端子

ステレオミニジャックケーブルを使用して外部機器のライン
入力端子、またはタイムコード受信機と接続します。

3-6. リアパネル



⑳ Bluetooth 機器接続端子

別売の専用 Bluetooth アダプター（AK-BT2）を接続します。

4. 準備

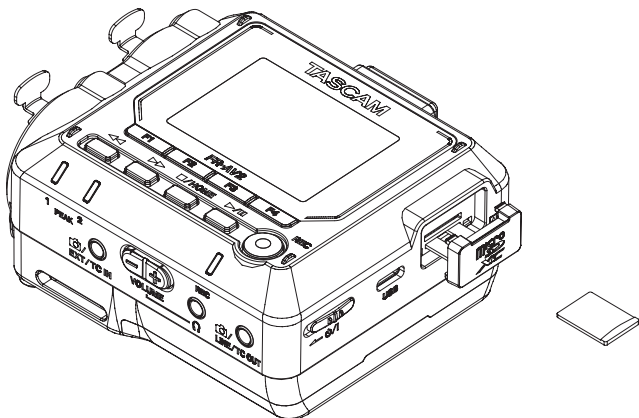
4-1. microSD カードを入れる／取り出す

microSD カードを入れる

本機で再生／録音を行うには、右サイドパネルの microSD カードスロットに microSD カードを挿入します。

メモ

電源がオン／オフどちらのときも microSD カードを挿入することができます。



1. microSD カードスロットのカバーを開く。
2. microSD カードのラベル面を上にして挿入する。
3. microSD カードスロットのカバーを閉める。

microSD カードを取り出す

電源をオフにするか、動作を停止してから、microSD カードを取り出します。

注意

本機が動作中（録音中、再生中、microSD カードにデータを書き込み中など）は、絶対に microSD カードを取り出さないでください。録音が正しく行われなかったり、データが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴覚障害の原因になるなどの可能性があります。

1. microSD カードを軽く押し込んでから放す。
手前に出てきます。
2. microSD カードを引き出します。

4-2. 電源の準備

電源について

本機は、単 3 形電池 3 本、別売の専用 AC アダプター（TASCAM PS-P520U）または市販の USB ケーブルを使って（USB バスパワー供給）、本機に電源を供給します。

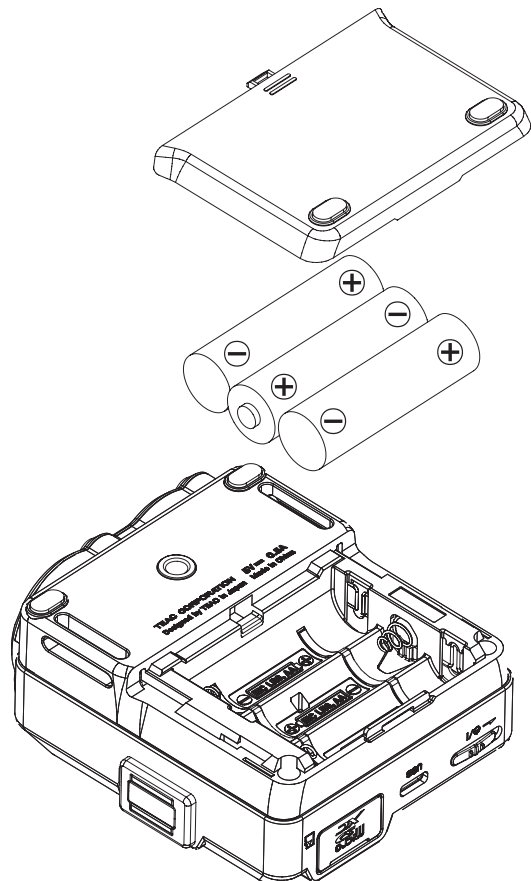
電池は、単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形ニッケル水素電池またはリチウム乾電池を使用することができます。

メモ

本機には、AC アダプターを使用して充電電池を充電する機能はありません。

単 3 形電池で使用する

1. 電池ケースカバーを取り外し、電池ケース内の ⊕ と ⊖ の表示に合わせて、単 3 形電池を 3 本セットする。
2. 電池ケースカバーを取り付ける。



電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。（54 ページ「17-7. 単 3 形電池の種類を設定する（電池タイプ）」）

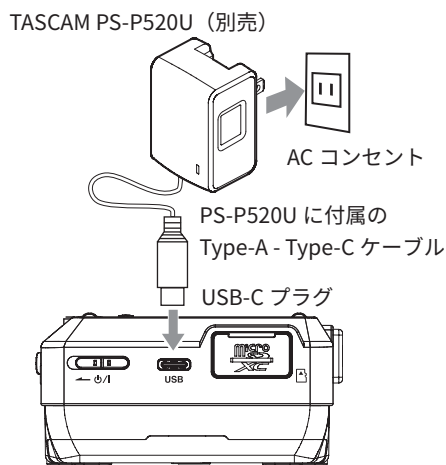
メモ

乾電池での動作は、ご使用の環境温度や使用条件により動作可能な時間が変動します。

連続で長時間ご使用される場合は、AC アダプター等外部電源を推奨します。

AC アダプターで使用する（別売）

別売の専用 AC アダプター（PS-P520U）と本機の USB 端子を接続します。



注意

- 本機には別売の専用 AC アダプター（PS-P520U）を使用することを強く推奨します。他の電源デバイスをご使用になる場合は、下記の仕様の電源デバイスを使用してください。

- 供給電圧：5V
- 供給電流：1.5A 以上

上記の仕様以外の電源デバイスを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。

異常がある場合は、使用を中止して、お買い上げの販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

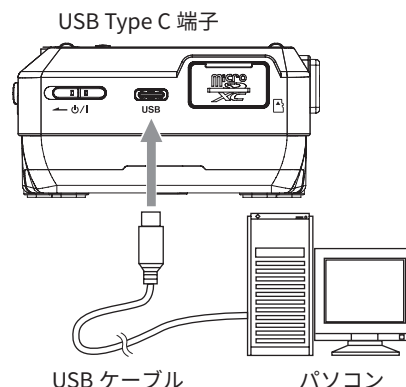
- 本体を AC アダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、AC アダプターを本体から離してお使いください。

メモ

- 電源選択設定が自動判別の場合、電池と外部電源の両方をセットすると、外部電源から電源が供給されます。
- 電池と外部電源の両方をセットしていて、外部電源を取り外すと、電源が電池に切り換わって動作します。

USB バスパワーを使用する

図のように、パソコンと本機を市販の USB ケーブルを使って接続します。



メモ

- パソコンから電源の供給を受けるだけの場合、ドライバーのインストールは不要です。
- パソコンなどの USB Type-C 端子との接続を推奨します。

4-3. 電源をオンにする / オフにする

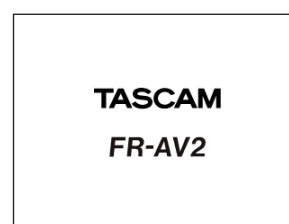
注意

本機の電源のオン/オフは、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。

電源をオン/オフするときにヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、ヘッドホンのドライバーユニットや聴覚を損傷する恐れがあります。

電源をオンにする

ON スイッチを ← マーク方向にスライドさせ、画面が表示されたら離してください。



起動画面

本機が起動すると、ディスプレイに画面が表示されます。

4. 準備

電源をオフ（スタンバイ状態）にする

電源スイッチを ← マーク方向にスライドさせ、画面が消えたら離してください。

シャットダウン処理が実行され、電源がオフになります。

注意

電源をオフにするときは、必ず 電源スイッチで行ってください。正しくシャットダウン処理が行われないと、録音データや設定などが全て失われる場合があります。なお、失われたデータや設定は、復元できません。

メモ

録音待機中／録音中は、電源をオフにすることはできません。

リジューム機能

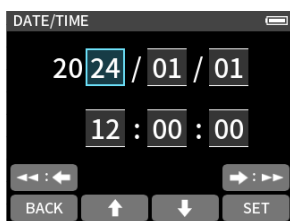
本機は電源をオフにするとき、再生を停止した位置を記憶します。次に電源をオンにしたとき、その停止した位置から再生することができます。

メモ

停止した位置は microSD カードに記録されるため、電源オンの状態で microSD カードを入れ換えた場合には、停止位置が記憶されません。

日時を設定する

日時設定がリセットされているとき、日時を設定する日時設定画面が表示されます。



- F2 [↑] / F3 [↓] ボタンを使って数字を変更
- ◀ [←] / ▶ [→] ボタンを使ってカーソルを移動
- F4 [SET] ボタンを押して確定

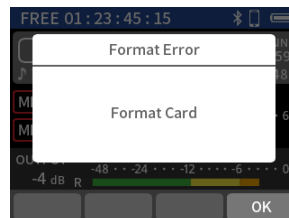
メモ

日時設定は、STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面 > SYSTEM > DATE/TIME 項目からも変更できます。

microSD カードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないカードが挿入されていると以下のようなメッセージが表示されます。

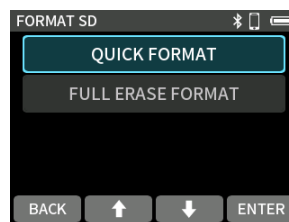
F4 [OK] ボタンを押してフォーマットを実行します。



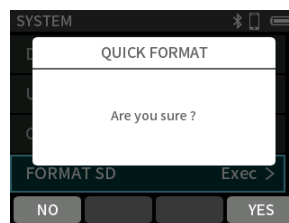
- 本機で初めて使用する microSD カードをフォーマットするときは、FULL ERASE FORMAT を推奨します。
- フォーマットが成功すると、HOME 画面が表示されます。

フォーマットは、STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面 > SYSTEM > FORMAT SD 項目からでも実行できます。

1. 「QUICK FORMAT」または「FULL ERASE FORMAT」を選択する。



2. F4 [YES] ボタンを押す。



注意

フォーマットすると microSD カードの全てのデータが消去されます。データをパソコンにバックアップしてからフォーマットを実行してください。

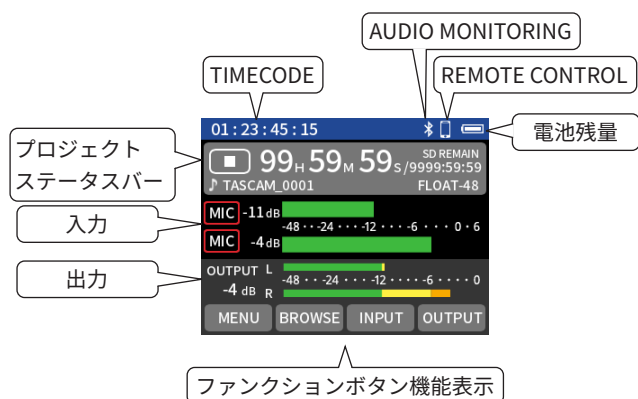
メモ

- 「FULL ERASE FORMAT」を実行すると、繰り返し使用で低下した書き込み性能が改善する可能性があります。録音中に「Write Timeout」または「Card slow Check BOF MARK」というメッセージが表示された場合は、「FULL ERASE FORMAT」を実行してください。
- 「FULL ERASE FORMAT」は、メモリーのエラーをチェックしながらフォーマットを実行するため、「QUICK FORMAT」と比べて多くの時間がかかります。

4-4. HOME 画面

本機が起動すると HOME 画面が表示されます。
HOME 画面は操作状態によって、3種類の表示にわかれます。
各状態で F1 から F4 ボタンの機能が変わります。

アイコン



電池残量 /USB 接続マーク

電池動作時は電池の残量を表示。
USB 接続時は USB アイコンに切り替わります。

プロジェクトステータスバー

各動作状態のアイコンと録音または再生位置の時間表示、
microSD カードの残量などを表示します。

ステータス	表示
STOP	■
REC	●
REC STANDBY	●
PLAY	▶
PAUSE	

入力

入力設定やレベルを表示します。

出力

出力設定やレベルを表示します。

TIMECODE

タイムコードを表示します。(49 ページ「15-1. TIMECODE の
選択」)

AUDIO MONITORING

ワイヤレスオーディオモニタリング機器の接続状態を表示し
ます。(52 ページ「16-1. ワイヤレスオーディオモニタリング」
ニタリング」)

状態	表示
接続	Bluetooth 接続アイコン
切断	無し

REMOTE CONTROL

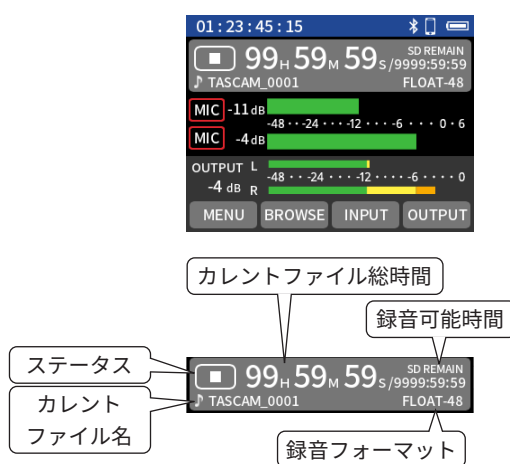
リモートコントロール機器の接続状態を表示します。(47 ページ「14-3. 専用コントロールアプリと接続する」)

BLUETOOTH	状態	表示
REMOTE CONTROL ON	未接続	点滅
	接続	点灯
REMOTE CONTROL OFF	—	非表示

ファンクションボタン機能表示

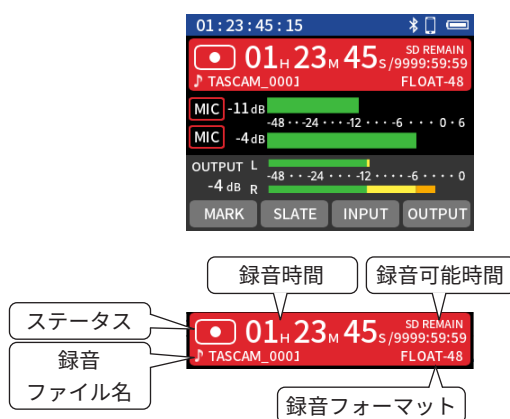
ファンクションボタンに割り当てられている機能を表示します。

STOP 状態



ファンクションボタン	動作
F1 [MENU]	MENU 画面表示 (56 ページ)
F2 [BROWSE]	BROWSE 画面表示 (57 ページ)
F3 [INPUT]	INPUT SETTINGS 画面表示 (58 ページ)
F4 [OUTPUT]	OUTPUT SETTINGS 画面表示 (58 ページ)

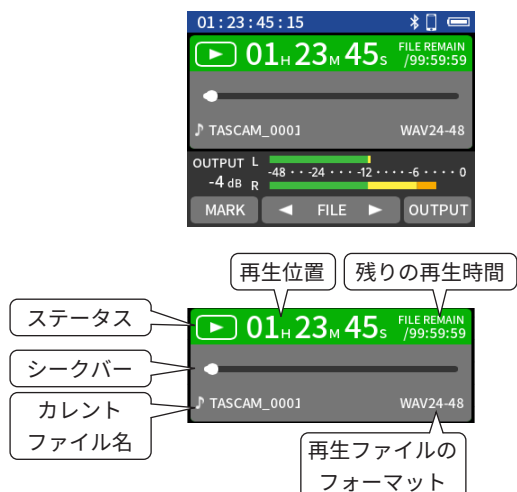
REC / REC STANDBY / REC PAUSE 状態



ファンクションボタン	動作
F1 [MARK]	MARK をつける
F2 [SLATE]	押されている間 SLATE TONE を録音 / 出力する
F3 [INPUT]	INPUT 設定画面表示
F4 [OUTPUT]	OUTPUT 設定画面表示

4. 準備

PLAY / PAUSE / FF / REW 状態



ファンクションボタン	動作
F1 [MARK]	MARK を付加または削除する (既存 MARK 位置で PAUSE 中)
F2 [◀]	1つ前の音声ファイルの先頭にスキップする または、ファイルの先頭にスキップする(再生位置が頭以外の時)
F3 [▶]	次の音声ファイルの先頭にスキップする (PAUSE 時は STOP 状態にする)
F4 [OUTPUT]	OUTPUT 設定画面表示

メモ

F1 [MARK] ボタンを押しながら F2 [◀] / F3 [▶] を押すことで、前後の MARK 位置に移動することができます。

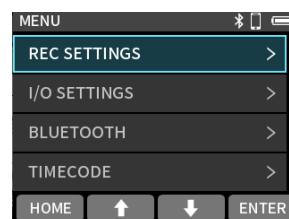
4-5. 基本操作

ディスプレイに表示している画面によって、ファンクションボタン (F1、F2、F3、F4) のボタンに割り当てられる機能が変わります。ディスプレイの画面下部に現在割り当てられている機能のアイコンが表示されます。

設定項目選択手順

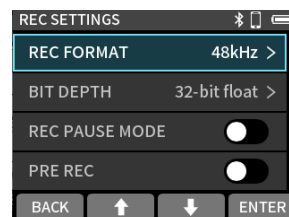
REC SETTINGS の REC FORMAT 設定を変更する手順を例として説明します。

1. F2 [↑] ボタンまたは F3 [↓] ボタンを押して「REC SETTINGS」にカーソルを移動させて F4 [ENTER] ボタンを押す。



MENU 画面

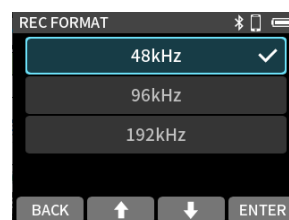
2. F2 [↑] ボタンまたは F3 [↓] ボタンを押して「REC FORMAT」にカーソルを移動させて F4 [ENTER] ボタンを押す。



MENU > REC SETTINGS 画面

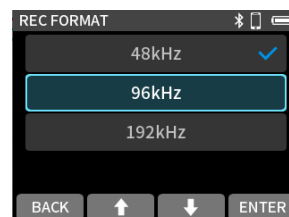
3. F2 [↑] ボタンまたは F3 [↓] ボタンを押して設定する値にカーソルを移動させる。

- 右側に ✓ マークがついている値が現在の設定値です。



MENU > REC SETTINGS > REC FORMAT 画面

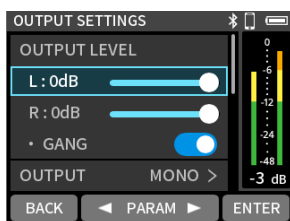
4. F4 [ENTER] ボタンを押して、設定を確定する。



設定確定後、1つ前の画面に戻ります。

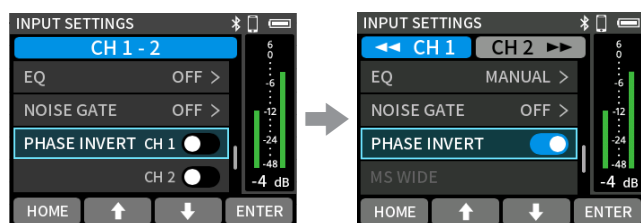
設定を変更しないときは、F1 [BACK] ボタンを押して、1つ前の画面に戻ります。

スライダー



スライダーを選択後、F2 [◀] ボタンと F3 [▶] ボタンを押してスライダーの位置を調節します。

スライドスイッチ



F4 [ENTER] ボタンを押すとスイッチのON/OFFが換わります。

- : ON
- : OFF

文字入力

任意の文字を入力する項目では、文字入力画面を表示します。以下の画面は、STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面 > SYSTEM > FILE NAME・TEXT の文字入力画面の例です。



カーソルを ◀◀ ボタン、▶▶ ボタンで左右に移動させ、F2 [↑] ボタン、F3 [↓] ボタンで上下に移動させます。

入力する文字の位置にカーソルを移動させたら F4 [ENTER] ボタンを押して文字を入力します。

英文字入力と数字記号入力を切り換えるには、シフトを選択して F4 [ENTER] ボタンを押します。

入力が終了したら「OK」を選択し F4 [ENTER] ボタンを押します。

入力を中断するには、F1 [BACK] ボタンを押します。

ポップアップ表示

ユーザーの確認操作後表示が消えるものと約 2 秒後に自動で消えるものがあります。

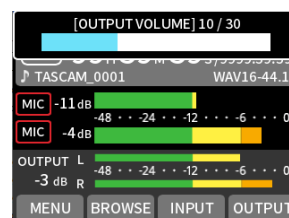
ユーザーの確認が必要な表示

メッセージ確認後、F1 [NO] ボタンまたは F4 [YES] ボタンを押すと表示が消えます。



自動で消える表示

約 2 秒後に自動で表示が消えます。



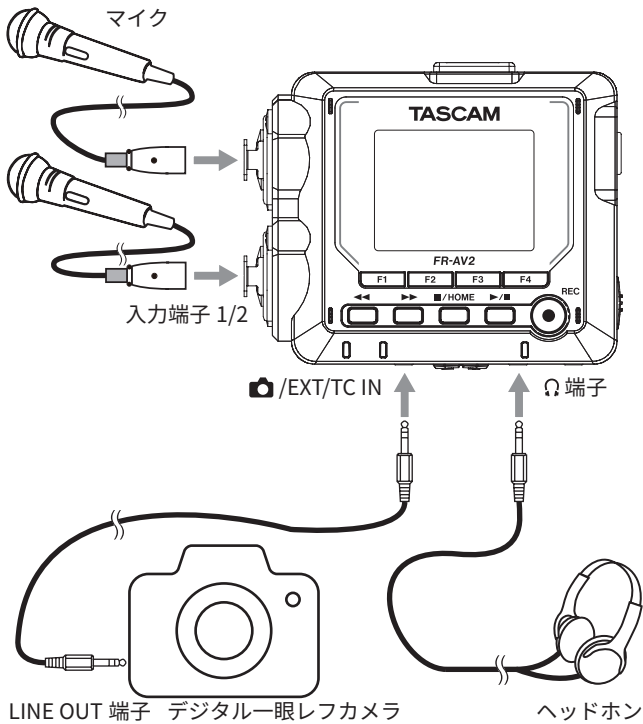
F4 [OK] ボタンが表示されている画面は、F4 [OK] ボタンを押すとすぐに画面が消えます。



5. 接続

5-1. 接続例

最大2入力の録音が可能です。

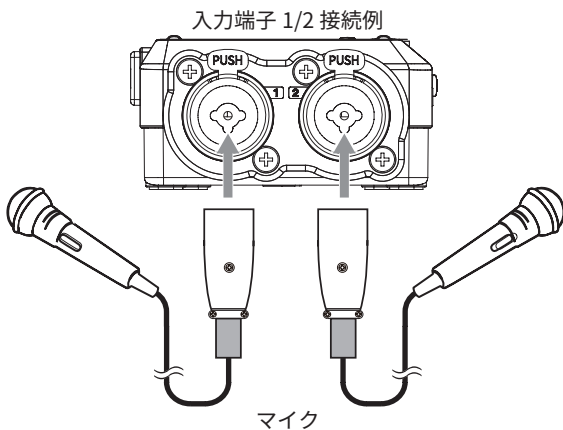


5-2. 外部マイク / 外部機器を接続する

接続する機器に合わせて INPUT SETTINGS 画面 > INPUT の設定をしてください。詳しくは、25 ページ「録音する入力ソースの設定 (INPUT)」をご参照ください。

外部マイクを接続する

マイクを入力端子 1/2 の XLR ジャックに接続してください。マイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。XLR ジャックに差し込む場合、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。引き抜くときは、ロック機構を押さながら引き抜いてください。



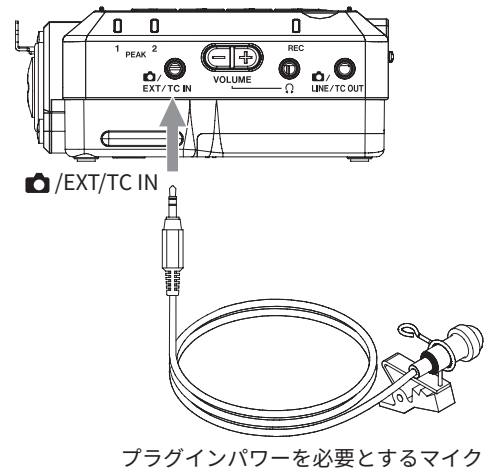
接続後、入力選択設定が終わったら、INPUT SETTINGS 画面 > INPUT の設定で「MIC」を選択してください。(24 ページ「6-1. 各入力を入力設定する」)

メモ

- ファンタム電源を必要とするマイクを使用するときはファンタム電源の設定をしてください。(27 ページ)
- 接続する機器がアンバランス出力の場合は、📷/EXT/TC IN 端子に接続してください。
- TRS ジャック使用時、ファンタム電源は供給されません。

プラグインパワーを必要とするマイクを接続する

マイクを 📷/EXT/TC IN 端子に接続してください。ステレオ / モノラルのマイクに対応しています。プラグインパワーの設定は、25 ページ「プラグインパワーを設定する (PLUG IN POWER)」をご参照ください。

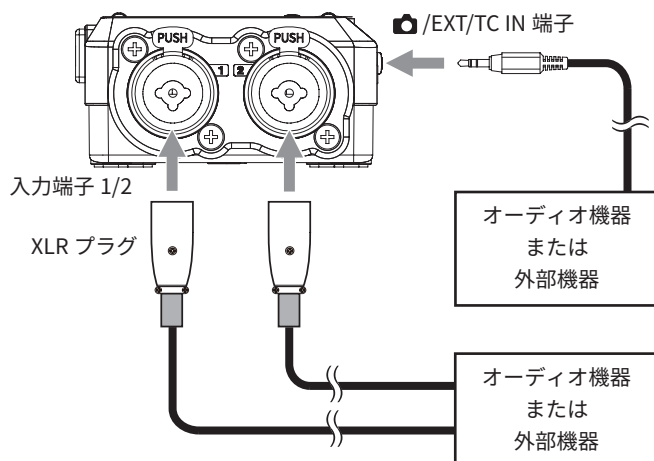


MS マイクを接続する

入力端子 1/2 に接続することができます。MS マイクの Mid 側を入力端子 1 に、Side 側を入力端子 2 に接続してください。接続後、STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面 > I/O SETTINGS > MS DECODE で「REC」または「MONITOR」を選択してください。MS マイクを使った録音については 28 ページ「6-4. MS デコード機能を使う」をご参照ください。

外部機器を接続する

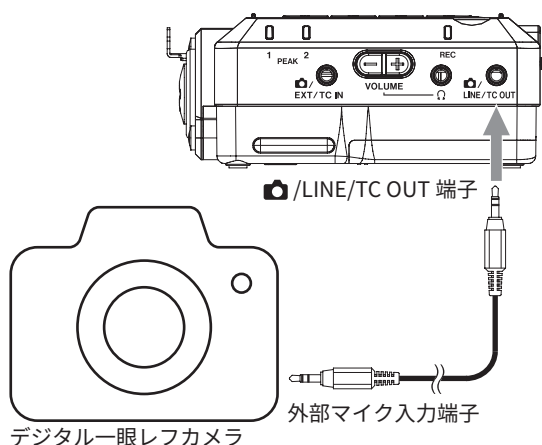
- ステレオミニケーブルで接続する場合は、/EXT/TC IN 端子に接続してください。
接続後、INPUT SETTINGS 画面 > INPUT の設定を「EXT」に変更してください。(24 ページ「6-1. 各入力で入力設定する」)
- XLR プラグで接続する場合は、入力端子 1/2 に接続してください。
接続後、INPUT SETTINGS 画面 > INPUT の設定を「LINE」に変更してください。(24 ページ「6-1. 各入力で入力設定する」)



XLR プラグ：XLR-3-31 相当 (1：GND、2：HOT、3：COLD)
TRS プラグ：φ 6.3 mm (1/4") TRS 標準ジャック (Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND)

5-3. カメラと接続する

カメラでの動画撮影時に、カメラと同じ音声を同時に録音することができます。カメラに音声を入力するために、本機とカメラを接続する場合は、以下のように接続してください。



カメラ用に出力を設定する

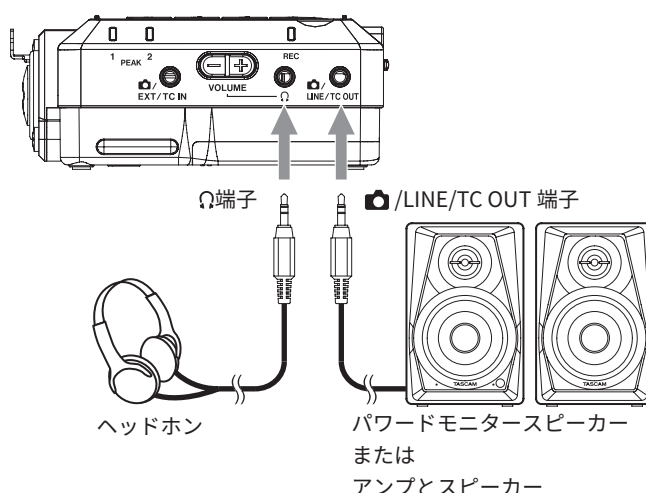
カメラ用のライン出力レベルを最大 80 dB アッテネート (減衰) することができます。
43 ページ「12-1. カメラ用に出力を設定する」をご参照ください。

5-4. モニター用機器を接続する

外部モニターシステム (パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー) で聴く場合は、/LINE/TC OUT 端子に外部モニターシステムを接続してください。

ヘッドホンで聴く場合は、 (ヘッドホン) 端子にヘッドホンを接続してください。

設定によっては、REC [●] ボタンを押さないと、モニターできない場合があります。詳しくは、31 ページ「録音動作の流れ」をご参照ください。



接続する機器に合わせて、STOP 状態の HOME 画面で F4 [OUTPUT] ボタンを押して、OUTPUT 画面を表示し設定をしてください。

⚠ 注意

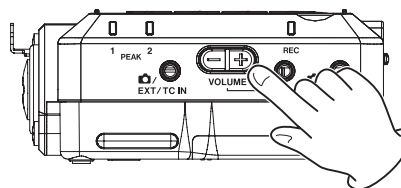
ヘッドホンを耳に着けたまま、電源のスタンバイ / オンや、ヘッドホンプラグの抜き差しを行わないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。
必ず音量を最小 (0) まで下げてからヘッドホンを装着してください。

メモ

LINE OUT からオーディオを出力するときは TC OUT LEVEL を「OFF」にしてください。詳細は、50 ページ「TIMECODE を出力する」をご参照ください。

5-5. ヘッドホン出力の音量を調節する

(ヘッドホン) 端子出力およびワイヤレスオーディオモニタリング出力の音量を、フロントパネルの (ヘッドホン) ボリュームの +/- を押して音量を調節します。



メモ

音量は、STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面 > OUTPUT SETTINGS > OUTPUT LEVEL でも変更できます。29 ページ「6-5. 音量調節」をご参照ください。

5. 接続

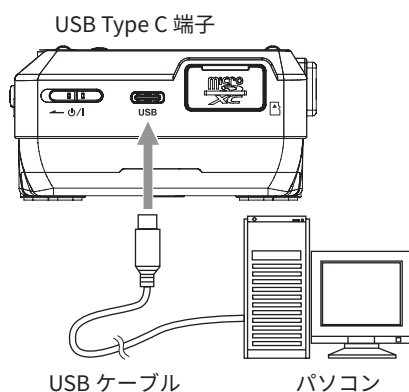
5-6. パソコンやスマートフォンと接続する

パソコン (Windows/Mac) やスマートフォンと USB 接続すると、以下のような使い方ができます。

- USB マイクとして使う
- 本機の microSD カードで録音しながら、パソコンでも録音する (バックアップ録音)
- パソコンの再生音をモニターする
- microSD カードリーダー (パソコン接続時のみ)

メモ

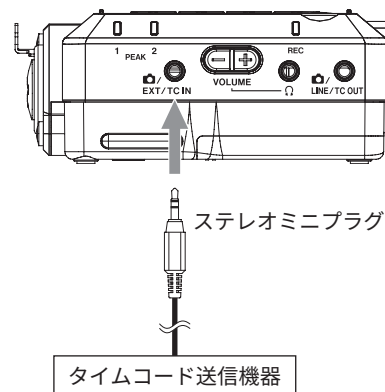
- 本機と iOS 端末を接続する場合は、電池駆動に設定してください。詳しくは、54 ページ「17-6. 電源の選択」をご参照ください。
- 本機とパソコン (Windows/Mac) やスマートフォンを接続する場合、別途 USB ケーブルを用意する必要があります。(6 ページ「USB ケーブル (通信用またはデータ転送用) について」)



5-7. タイムコード同期をする

詳しい使い方は、49 ページ「15. タイムコード機能」をご参照ください。

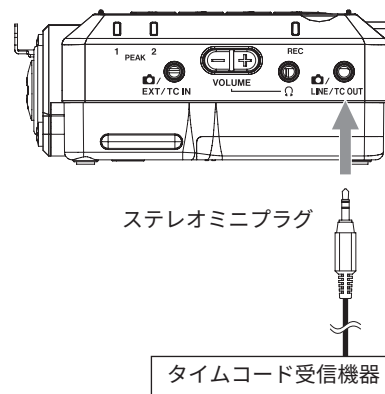
タイムコードを受信する



接続する機器に合わせて MENU 画面 > TIMECODE > MASTER の設定をしてください。詳しくは、50 ページ「有線で TIMECODE を受信する」をご参照ください。

Bluetooth 通信を使用したタイムコード同期を行うこともできます。46 ページ「14-2. 本機と Bluetooth 接続する」をご参照ください。

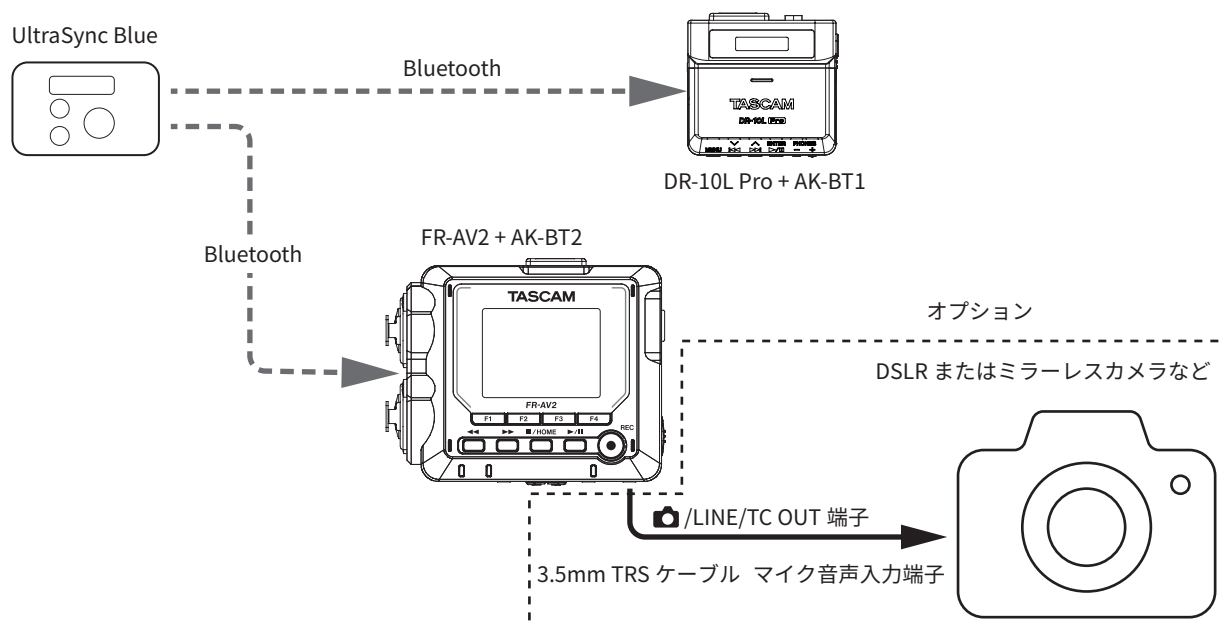
タイムコードを送信する



接続する機器に合わせて MENU 画面 > TIMECODE > TC OUT LEVEL の設定をしてください。詳しくは、50 ページ「TIMECODE を出力する」をご参照ください。

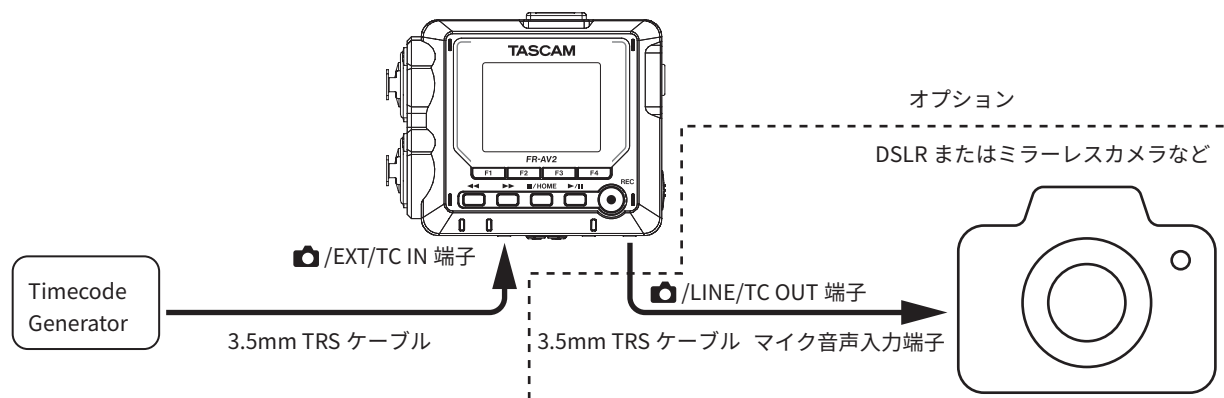
タイムコード接続例

1. Atomos UltraSync BLUE の場合



2. タイムコードジェネレーターを用いた例

外部のタイムコードジェネレーターから TC IN 端子にタイムコードを入力。



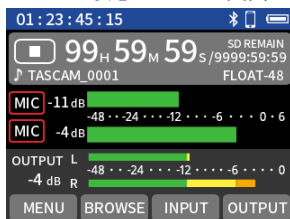
ヒント

- Atomos UltraSync Blue、またはタイムコードジェネレーターからのタイムコードに一度同期させた後は、常時接続だけでなく、接続を切り離しても FREE RUN にしておけばジャムシンクさせることができます。
- FR-AV2 がタイムコードジェネレーターになりカメラにタイムコードを供給できます。(49 ページ「15. タイムコード機能」)
- FR-AV2 を追加し、ジャムシンクしておけば上記の例と同じようにタイムコードに同期したカメラを追加することも可能。

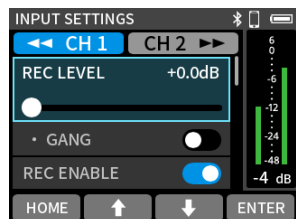
6. 入出力設定

6-1. 各入力で入力設定する

STOP 状態の HOME 画面



F3 [INPUT] ボタンを押す。



(STEREO LINK 設定 OFF)

メモ

- ステレオリンクがオフのときは、◀ / ▶ ボタンで設定するチャンネルを選択します。
- 設定項目は1画面に全て表示されていません。F2 [↑] / F3 [↓] ボタンで選択位置を上下に移動させて必要な設定項目を表示してください。
- チャンネルを選択して設定を行いますが、設定は選択したチャンネルに割り当てられている入力端子の設定として保存されます。このため入力ソース設定を使ってチャンネルと入力端子の割り当てを変更しても入力端子の設定が変わることはありません。ただし、ステレオリンクを除きます。

録音レベルを調節する (REC LEVEL)

REC LEVEL を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

録音ファイルに記録される音声信号レベルを F2 [↑] / F3 [↓] ボタンで調節する。

調節が終わったら F4 [ENTER] ボタンを押す。

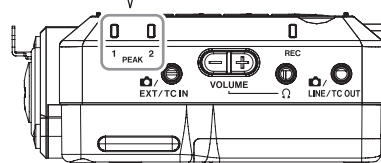
選択肢：0dB ~ + 60dB (初期値：+ 18dB)

- レベルメーターを見ながら -12 dB を中心にレベルが変化し、PEAK インジケータが点灯しないように「REC LEVEL」を調節してください。
- PEAK インジケータが点灯したときの録音音声は、歪むことがあります。

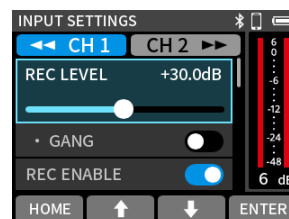
メモ

- 入力レベルが -2 dB を超えると、本機の PEAK インジケータが点灯します。

入力レベルが -2 dB を超えた入力の PEAK インジケータが点灯



- アナログ回路でオーバーロードが発生した場合、レベルメーター全体が赤く点灯します。



録音音声が歪む可能性がありますので、以下の方法で調整してください。

- 音源からマイクを遠ざける。
- 音源の音量を下げる。

GANG 動作モードの設定 (GANG)

GANG 動作モードを設定すると、CH1 / CH2 の録音レベルを同時に連動させて操作することが可能になります。

「GANG」を選択して F4 [ENTER] ボタンを押すと設定が切り換わります。

選択肢：OFF (初期値) / ON


メモ

連動しているチャンネルが先に上限もしくは下限に達しても、操作中のチャンネルは続けて操作できます。その際レベル差は本体メモリーに記憶するため、操作中のチャンネルを逆に操作したときに記憶したレベル差を保持して連動します。

録音するチャンネルを設定する (REC ENABLE)

録音するチャンネルをオン/オフする事が出来ます。
「REC ENABLE」を選択して F4 [ENTER] ボタンを押すと設定が切り換わります。
選択肢：OFF/ON (初期値)

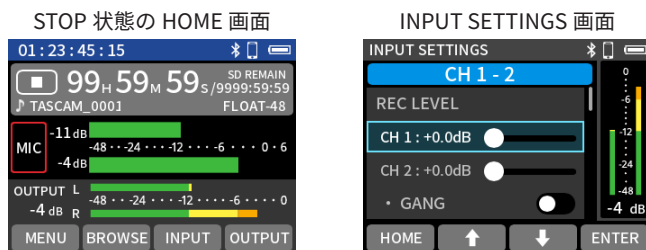
録音する入力ソースの設定 (INPUT)

チャンネルの入力ソースの設定をします。
入力端子 1/2 使用時は、「MIC」か「LINE」を選択してください。
CAMERA  / EXT / TC IN 使用時は、「EXT」を選択してください。
パソコンの出力を本機への入力音声として使う場合は、「USB」を選択してください。
ステレオリンク OFF 時：MIC (初期値) /LINE/EXT/USB
ステレオリンク ON 時：MIC (初期値) /LINE/EXT (ST)/EXT (MONO)/USB
● 「LINE」を選択すると、入力信号が 22 dB 減衰されます。

ステレオリンク (STEREO LINK)

チャンネル 1/2 の音声をステレオ音声ファイルとして録音することができます。
STEREO LINK を選択して F4 [ENTER] ボタンを押すと設定が切り換わります。
選択肢：OFF (初期値) /ON
● ステレオリンクを ON にすると、下記項目において、CH 1 の設定が CH 2 へ反映されます。
INPUT / DELAY / LOW CUT / DYNAMICS / EQ / NOISE GATE

STEREO LINK が ON のときの表示



ファンタム電源を使う (PHANTOM)

ファンタム電源を必要とするマイクを使用するときに設定します。
PHANTOM を選択して F4 [ENTER] ボタンを押すと ON/OFF 設定が切り換わります。
ファンタム電源の電圧の設定は 27 ページ「6-3. ファンタム電源の電圧値の設定」をご参照ください。
選択肢：OFF (初期値) /ON

メモ

本設定は、入力ソースの設定が「MIC」の時のみ有効です。

プラグインパワーを設定する (PLUG IN POWER)

選択肢：OFF (初期値) /2.5V /5V
プラグインパワーを必要とする外部マイクを接続したときに「2.5V」、「5V」に設定します。

注意

プラグインパワーを必要とするマイクを接続するとき以外は、プラグインパワーをオンにしないでください。接続した機器の故障の原因になる恐れがあります。
詳細については、マイクの取扱説明書をご参照ください。

各マイクの距離を補正する (DELAY)

接続した各マイク間の距離が離れている場合に生じる時間差を補正します。
選択肢：0 (初期値) ~ 300ms
F2 [◀PARAM] / F3[PARAM▶] ボタンを操作して調節します。

メモ

サンプリング周波数が 192kHz に設定されている場合は使用できません。

ローカットフィルターの設定 (LOW CUT)

選択した周波数以下の音声をカットします。
ローカットフィルターを使用すると、空調機やプロジェクターなどによるノイズや耳障りな風切り音などのノイズを低減することができます。
ノイズに合わせて、ローカットフィルターのカットオフ周波数を設定してください。
選択肢：OFF (初期値) /40Hz/80Hz/120Hz/220Hz

メモ

サンプリング周波数が 192kHz に設定されている場合は使用できません。

リミッターの設定 (DYNAMICS)

リミッターを使うと、突発的な過大入力音による歪みを抑えることができます。

メモ

サンプリング周波数が 192kHz に設定されている場合は使用できません。

OFF (初期値)

リミッターをオフにします。

LIMITER

突発的な過大入力による歪みを防ぐ機能です。
音量変化が激しいライブ録音などに適しています。

注意

入力音が大きすぎるとリミッター機能をオンにしても歪んでしまう場合があります。そのときは、手動で入力レベルを下げるか、音源から本体を離してください。

COMP

小さい入力は大きく、大きな入力はそれ以上大きくならないよう調整します。
歪みを防ぐ機能はありません。
過大入力が無く音量変化が大きな環境などに適しています。

6. 入出力設定

イコライザーの設定 (EQ)

イコライザーは、特定の周波数帯域を増幅あるいは減衰させるエフェクターです。個々の楽器の色付けや、幅広い帯域のバランス調整や余分な帯域のピンポイント・カットなどに使用します。

メモ

サンプリング周波数が 192kHz に設定されている場合は使用できません。

OFF (初期値)

イコライザーを使用しません。

INTERVIEW

インタビューや会議、ポッドキャストなどでの音声録音に適した設定です。

MUSIC

バンド演奏など、重低音を強調したい録音に適した設定です。

MANUAL EQ

4つの帯域を手動で調整できます。うち2つは低域ブーストと高域ブースト、もう2つはピークカーブを設定できます。

ゲインつまみ (HIGH/H-MID (HIGH MID) /L-MID (LOW MID) /LOW)

各バンドの増幅、減衰量を設定します。

設定範囲

ゲイン: -12 dB ~ +12 dB (初期値: 0 dB)

FREQつまみ (HIGH/HIGH MID/LOW MID/LOW)

「HIGH」と「LOW」はカットオフ周波数、「HIGH MID」と「LOW MID」は中心周波数を設定します。

設定範囲

HIGH: 1.7 kHz ~ 18.0 kHz (初期値: 5.5 kHz)

HIGH MID: 32 Hz ~ 18.0 kHz (初期値: 1.7 kHz)

LOW MID: 32 Hz ~ 18.0 kHz (初期値: 1.7 kHz)

LOW: 32 Hz ~ 1.6 kHz (初期値: 400 Hz)

Qつまみ (HIGH MID/LOW MID)

各バンドの尖鋭度 (尖り具合) を設定します。

値が大きいほど尖った特性になり、設定周波数を中心にして、狭い範囲の周波数帯域に作用します。値が小さくほどなだらかな特性になり、設定周波数を中心にして、広い範囲の帯域に作用します。

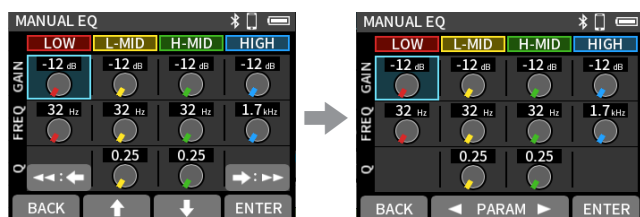
設定範囲

HIGH MID: 0.25 ~ 16.00 (初期値 2.00)

LOW MID: 0.25 ~ 16.00 (初期値 2.00)

MANUAL EQ

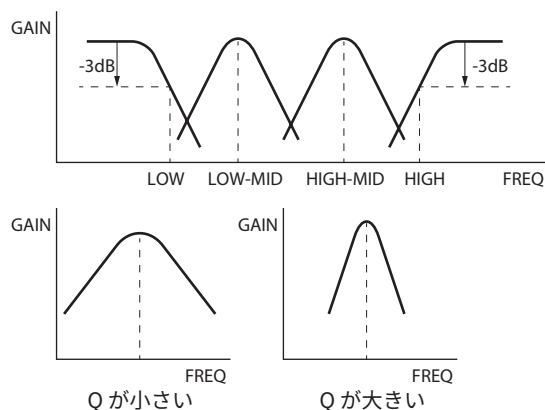
4バンドのEQを手動で調節できます。



◀◀ [◀] / F2 [↑] / F3 [↓] / ▶▶ [▶] ボタンを操作して調整するつまみを選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

F2 [◀PARAM] / F3 [PARAM▶] ボタンを操作して調節する。 F4 [ENTER] ボタンを押すとつまみ選択に戻ります。

EQ 特性例



ノイズゲートの設定 (NOISE GATE)

一定レベル以下の音声を無音にします。

「LOW」を選択すると小さな音だけ無音になり、「HIGH」を選択するとある程度大きな音も無音になります。

選択肢: OFF (初期値) / LOW/MID/HIGH

メモ

サンプリング周波数が 192kHz に設定されている場合は使用できません。

入力の位相を反転させる (PHASE INVERT)

オンにすると位相 (フェーズ) を反転します。

「PHASE INVERT」を選択して F4 [ENTER] ボタンを押すと設定が切り換わります。

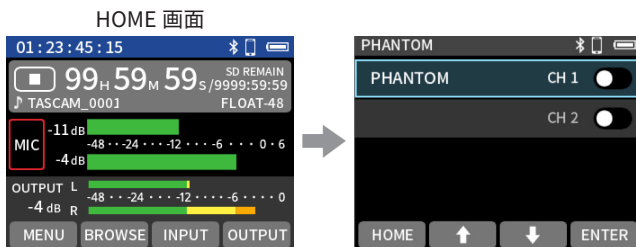
選択肢: OFF (初期値) / ON

メモ

同じ音源を2本以上のマイクで録音しているときに、音がボヤけると感じた場合、いずれかひとつあるいは複数の入力を位相反転すると音質が改善する場合があります。

6-2. ファンタム電源の状態確認と設定

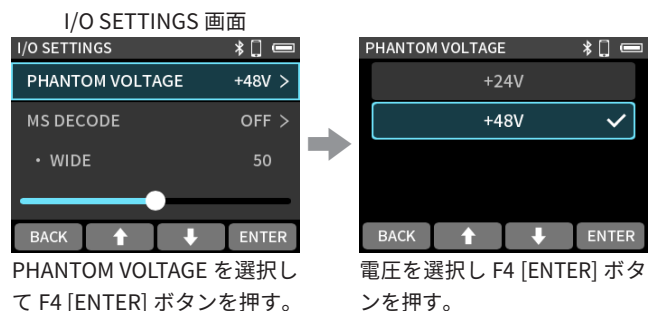
すべての入力の PHANTOM 設定状態を表示し、設定の変更ができます。



F3 [INPUT] ボタンを長押しすることで、PHANTOM 画面へ移行ができます。

6-3. ファンタム電源の電圧値の設定

STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面 > I/O SETTINGS 画面を表示します。



PHANTOM VOLTAGE を選択して F4 [ENTER] ボタンを押す。

電圧を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

メモ

- ファンタム電源の出力の ON/OFF は INPUT SETTINGS 画面で設定します。(25 ページ)
- 初期値は「+48V」です。
- 「+48V」に設定した場合、「+24V」よりも電池の消費が早くなります。

注意

- ファンタム電源をオンにした状態で、INPUT 1/2 端子にマイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファンタム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファンタム電源をオンにしてください。ファンタム電源を必要としないダイナミックマイクや外部機器などを接続しているときにファンタム電源をオンにすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファンタム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナミックマイクをご使用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクを混用することはできません。
- リボンマイクの中には、ファンタム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファンタム電源を供給しないでください。
- コンデンサーマイクによっては、「+24V」に設定されたファンタム電源では動作しないものもあります。
- 電池の持続時間は、使用するマイクによって変わります。詳しくは、マイクの取扱説明書をご覧ください。
- 電池でファンタム電源を使用すると、マイクによっては極端に使用時間が短くなる場合があります。別売の専用 AC アダプター (TASCAM PS-P520U) の使用をお勧めします。また、この推奨スペックを下回るアダプターを使用した場合、複数の入力でファンタム電源を使用した際に電源が自動的に切れる場合があります。
- ファンタム電源使用中は、USB 端子に接続されている電源ケーブルの抜き差しを行わないでください。本体に電池を挿入している状態でも電源が切れる可能性があり、録音中のデータが破損または消失してしまうことがあります。
- USB バスパワーで使用する場合、使用されるパソコンによってはファンタム電源が供給できない場合があります。その場合は電池駆動を設定します。

6. 入出力設定

6-4. MS デコード機能を使う

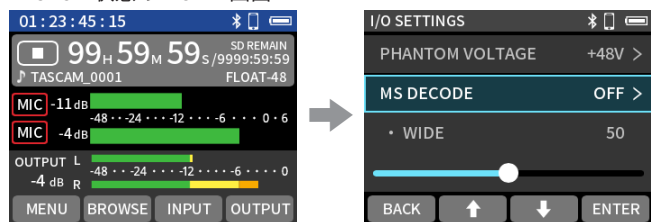
MS マイクを使った録音と再生ができます。

本機と MS マイクの接続は、20 ページ「MS マイクを接続する」をご参照ください。

接続設定

MS マイクを接続した端子を MENU 画面 > I/O SETTINGS > MS DECODE 項目で設定します。

STOP 状態の HOME 画面



F1 [MENU] ボタンを押す。

I/O SETTINGS > MS DECODE
を選択し F4 [ENTER] ボタン
を押す。

OFF (初期値)

MS デコード機能を使わない。通常モードでの録音を行います。

REC

デコードしながら録音する時に使用するモードです。再生は、通常の再生を行います。

MONITOR

あとからデコードする目的で MS マイクの出力をデコードせずに録音するとき、録音時にモニターする場合に使用するモードです。

すでにデコードせずに録音したファイルをデコードして再生する場合にも使用します。

メモ

- MS デコード機能が使えるのは、入力端子 1/2 に MS マイクを入力したとき、または MS マイクで録音された外部ファイルを本機で再生するときです。MS デコード機能を使用しない場合はオフの設定にして下さい。
- MS デコード対象の入力は、必ずステレオリンクしてください。操作方法は、25 ページ「ステレオリンク (STEREO LINK)」をご参照ください。

MID と SIDE のレベル調節

I/O SETTINGS 画面



MS WIDE を選択し、
F4 [ENTER] ボタンを押す。

F2 [◀PARAM] / F3 [PARAM▶]
ボタンを操作して音の広がり
具合を調節する。

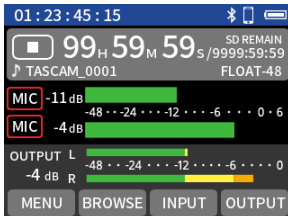
- 0 で M (MID) が 100% となり、数字が大きいほど S (SIDE) の割合が大きくなります。初期値は 50%。

6-5. 音量調節

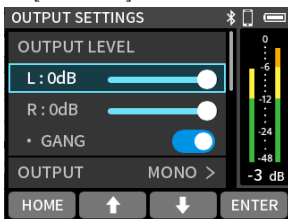
📷(カメラ)、LINE OUT、🎧(ヘッドホン) 出力、ワイヤレスオーディオモニタリングの音量を調節します。

- 🎧(ヘッドホン) 出力とワイヤレスオーディオモニタリングの音量は、本体の🎧(ヘッドホン) ボリュームでも調節することができます。

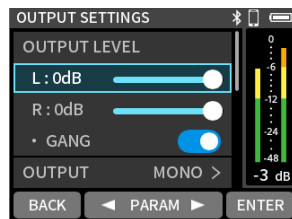
OUTPUT SETTINGS 画面



F4 [OUTPUT] ボタンを押す。



調節する出力を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。



F2 [◀PARAM] / F3 [PARAM▶]
ボタンを操作して調節する。

GANG 動作

GANG 設定によって音量を調節したとき L/R の音量が以下のように変わります。

ON (初期値)

L/R のバランスを保ったまま同時に「SOLO」の制御が可能

OFF

L/R それぞれ「OUTPUT LEVEL」の制御が可能

出力の音声 (OUTPUT)

OUTPUT 画面 > OUTPUT 項目で設定します。

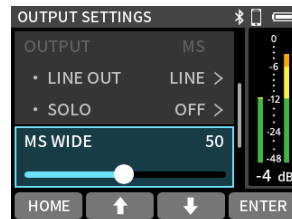
MONO (初期値) / STEREO

出力の音声をモノラル / ステレオに切り換えることができます。

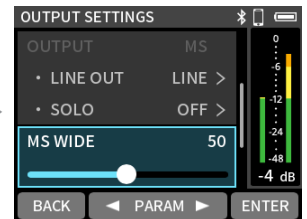
MID と SIDE のレベル調節 (MS WIDE)

MENU 画面 > I/O SETTINGS > MS DECODE を「MONITOR」に設定するとマイクの音をモニターしながら設定を調節することができます。詳しくは 28 ページ「接続設定」をご参照ください。

OUTPUT SETTINGS 画面



MS WIDE を選択し、
F4 [ENTER] ボタンを押す。



F2 [◀PARAM] / F3 [PARAM▶]
ボタンを操作して音の広がり
具合を調節する。

- 0 で M (MID) が 100% となり、数字が大きいくほど S (SIDE) の割合が大きくなります。初期値は 50 です。

LIMITER

突発的な過大出力による歪みを防ぐ機能です。

選択肢：OFF (初期値) / ON

注意

出力音が大きすぎるとリミッター機能をオンにしても歪んでしまう場合があります。そのときは、手動で出力レベルを下げてください。

DELAY

出力先の機器への遅延時間を調整することができます。

接続されるカメラ側で動画と音声を調整する際に便利な機能です。

選択肢：OFF (初期値) ~ 300ms

- F2 [◀] / F3 [▶] ボタンを操作して調節します。

6. 入出力設定

6-6. 入力設定の保存と呼び出し

入力設定の下記設定を保存し、呼び出すことができます。

- ・ REC LEVEL
- ・ GANG
- ・ DELAY
- ・ LOW CUT
- ・ DYNAMICS
- ・ EQ (MANUAL EQ)
- ・ NOISE GATE

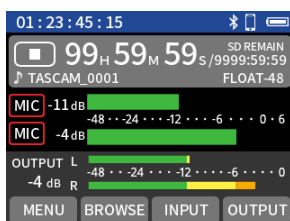
最大3個保存することができます。

メモ

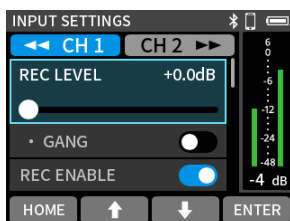
- 最初に何かを保存する前や SYSTEM INITIALIZE したときは、各種初期値の値がセットされています。
- USB の入力にはプリセットを使用できません。

プリセットを保存する

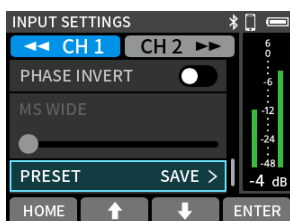
1. STOP 状態の HOME 画面で、F3 [INPUT] ボタンを押し INPUT SETTINGS 画面を表示する



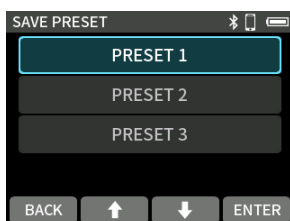
2. ステレオリンクがオフのときは、◀/▶ ボタンで保存したいチャンネルを選択する。



3. F2 [↑]/F3 [↓] ボタンで選択位置を上下に移動させて「PRESET SAVE」を選択して F4 [ENTER] ボタンを押す。



4. 保存先の選択画面が表示されるので、保存したい PRESET を F2 [↑]/F3 [↓] ボタンで選択して F4 [ENTER] ボタンを押す。

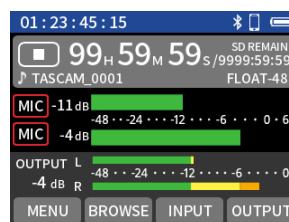


5. 確認のポップアップが表示されたら、F4 [YES] ボタンを押す。

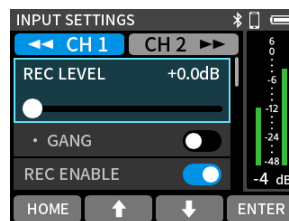


プリセットを呼び出す

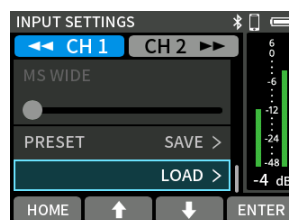
1. STOP 状態の HOME 画面で、F3 [INPUT] ボタンを押し INPUT SETTINGS 画面を表示する。



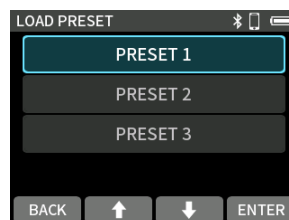
2. ステレオリンクがオフのときは、◀/▶ ボタンで呼び出したいチャンネルを選択する。



3. F2 [↑]/F3 [↓] ボタンで選択位置を上下に移動させて PRESET LOAD を選択して F4 [ENTER] ボタンを押す。



4. 呼び出したい PRESET を F2 [↑]/F3 [↓] ボタンで F4 [ENTER] ボタンを押す。



PRESET 読み込み後、HOME 画面に戻ります。

7-1. 録音について

録音待機機能（REC PAUSE MODE）

本機には、REC[●] ボタンを押すと録音待機状態になり、もう一度 REC[●] ボタンを押すと録音を開始する「録音待機」機能があります。録音を停止せずに録音と録音待機を繰り返すことで、一つのファイルとして保存することができます。（録音ホールド機能：オフ時のみ）出荷時の設定は、「録音待機」機能はオフになっています。

「録音待機」機能がオフのとき、常に入力信号のモニターを行います。

「録音待機」機能がオンのとき、録音待機中と録音中のみ入力信号のモニターを行います。

「録音待機」機能の設定は、MENU 画面 > REC SETTINGS > REC PAUSE MODE 項目で行います。

メモ

「録音待機」機能をオンにすると、停止状態で入力信号のモニターがオフになるため、停止状態での消費電力を抑えることができます。

録音ホールド機能（REC HOLD）

誤操作による不意の録音停止を防ぐための機能です。本機能のオン時は、STOP ボタンの長押し操作で録音を停止します。

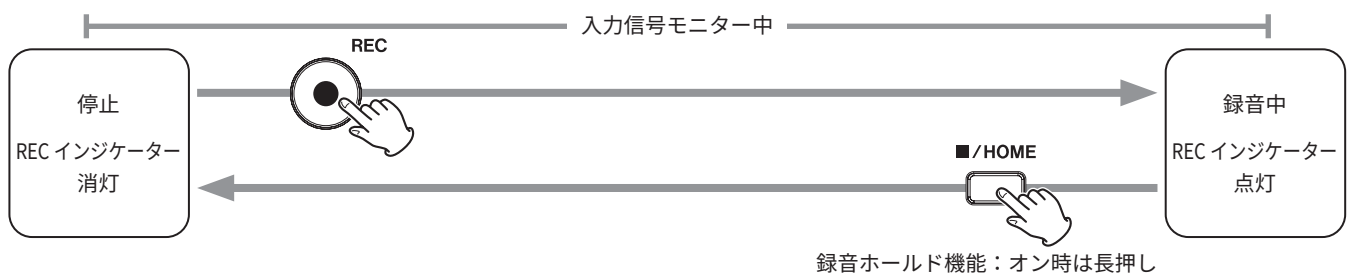
- 出荷時の設定は、「録音ホールド」機能はオンになっています。

「録音ホールド」機能の設定は、MENU 画面 > REC SETTINGS > REC HOLD 項目で行います。

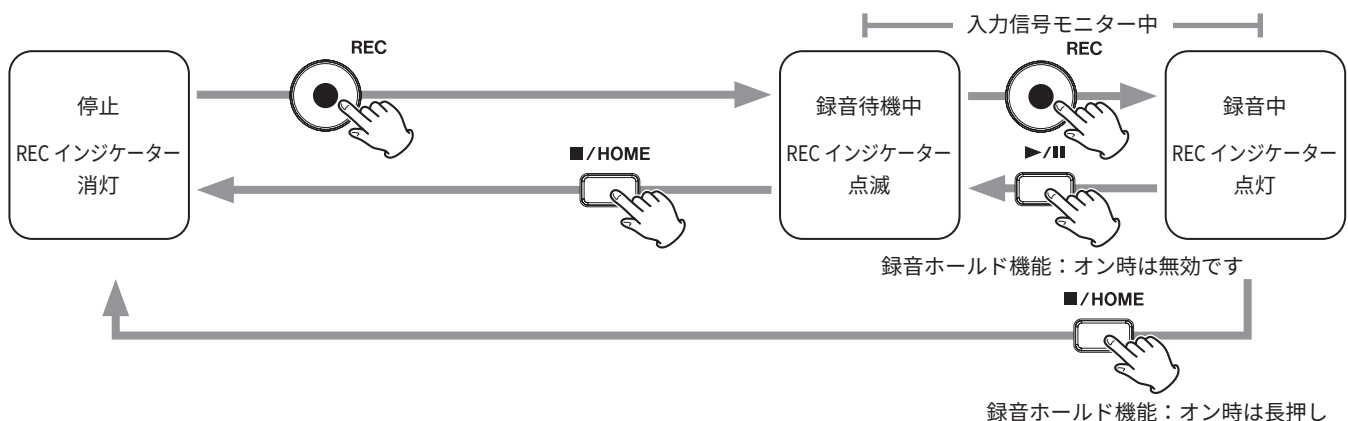
録音動作の流れ

「録音待機」機能のオン / オフに応じて、ボタンを押すごとに以下のように状態が変わります。

録音待機機能：オフ



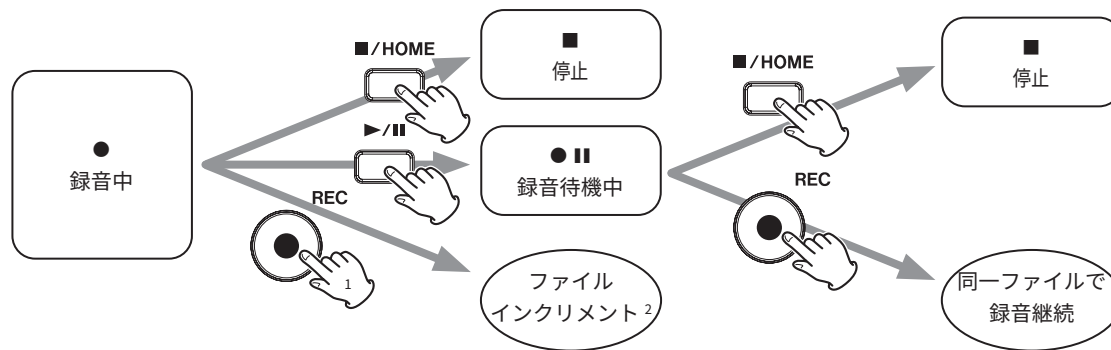
録音待機機能：オン



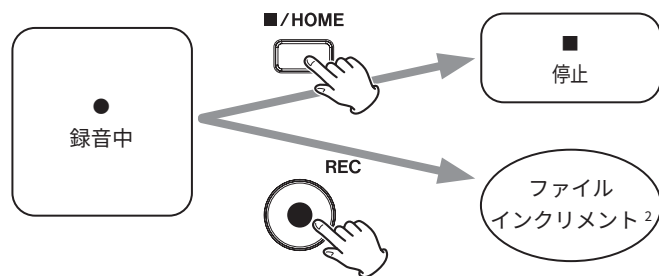
7. 録音

7-2. 録音中の各ボタンの動作

録音待機機能オン



録音待機機能オフ



¹ 録音ホールド機能：オン時は無効です

² ファイルインクリメントについては33ページ「8-7. 録音を続けたままファイルを切り換える（ファイルインクリメント機能）」をご参照ください。

8-1. 各入力のモニターをする (SOLO)

STOP 状態の HOME 画面で F4 [OUTPUT] ボタンを押して、OUTPUT SETTINGS 画面 > SOLO でモニターしたいチャンネルを選択することでソロモニターができます。

選択肢：OFF (初期値)/CH 1/CH 2

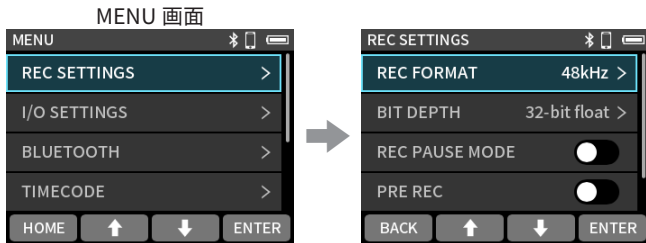
メモ

録音中は自動で「OFF」になります。

8-2. 録音ファイルのフォーマットを変更する

STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面を表示します。

MENU 画面 > REC SETTINGS > 録音形式項目で設定します。



REC SETTINGS を選択して F4 [ENTER] ボタンを押す。

設定項目を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

REC FORMAT

サンプリング周波数を選択してください。

選択肢：48kHz(初期値)/96kHz/192kHz

BIT DEPTH

量子化ビット数を選択してください。

選択肢：24bit/32-bit float(初期値)

32-bit float

本機は、32-bit float 録音に対応しています。32-bit float で録音したファイルは、収録後のデータ編集において下記の特長があります。

- 小さな音を、元の音質を保ったまま音量を上げることが可能です。
- 聴感上クリップしている音も、音量を下げることで、クリップのない音に復元可能です。

注意

アナログでクリップした際は、音量を下げた場合でもクリップしてしまいます。

8-3. 録音中に一時停止する (REC PAUSE MODE)

31 ページ「録音待機機能 (REC PAUSE MODE)」をご参照ください。

8-4. 録音開始の少し前から録音する (PRE REC)

STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面 > REC SETTINGS > PRE REC 項目で設定します。

オンにすると録音待機中に入力される信号を最大 5 秒間録音しておき、録音開始時に最大 5 秒前からの信号を録音します。

選択肢：OFF (初期値)/ON

メモ

REC FORMAT が 192kHz に設定されているときは、PRE REC は最大 2 秒前からの信号を録音します。

8-5. 録音ファイルの名前について

36 ページ「10-1. ファイル名について」をご参照ください。

8-6. 録音フォルダーを指定する

36 ページ「10. ファイル操作」をご参照ください。

8-7. 録音を続けたままファイルを切り換える (ファイルインクリメント機能)

ファイル番号を切り換えるには、録音中に本体の REC ボタンを押します。

メモ

- 新しいファイルが作成されると、ファイル名の次の数字部分が繰り上がります。
- 新たに作成するファイルのファイル名がすでに存在する場合は、数字部分の後に「[---]」が付けられます。(--- は 001 から始まる 3 桁の数字)
例：YYMMDD_0001[001]-1.wav
- フォルダーとファイルの総数が 1000 個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。

8. 録音設定

8-8. 録音時間

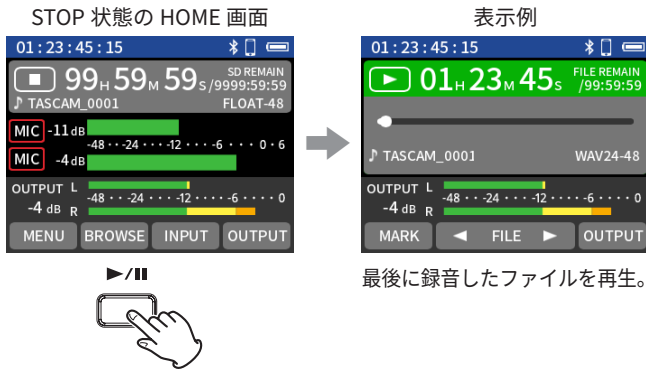
ファイルフォーマット（録音時の設定）		カード容量	
		32 GB (microSDHC)	128 GB (microSDXC)
WAV 24-bit (ステレオリンク:オン)	48 kHz	30 時間 50 分	123 時間 26 分
WAV 24-bit (ステレオリンク:オン)	96 kHz	15 時間 25 分	61 時間 43 分
WAV 24-bit (ステレオリンク:オン)	192 kHz	7 時間 42 分	30 時間 51 分
WAV 32-bit float (ステレオリンク:オン)	48 kHz	23 時間 8 分	92 時間 32 分
WAV 32-bit float (ステレオリンク:オン)	96 kHz	11 時間 34 分	46 時間 16 分
WAV 32-bit float (ステレオリンク:オン)	192 kHz	5 時間 47 分	23 時間 8 分

- 上記録音時間は理論値であり、ご使用の microSD カードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、microSD カードに可能な録音合計時間です。
- ステレオリンク：オフで1つのチャンネルのみ録音の場合は、上記録音時間の約2倍の時間となります。

メモ

録音中に録音ファイル容量が4GBを超えると、録音は継続されますが、自動で次のファイルに録音されます（ファイルインクリメント）。ファイル名については36ページ「10-1. ファイル名について」をご覧ください。

9-1.再生画面を開く



再生するファイルの選択

F2 [◀] / F3 [▶] ボタンを押して、再生したいファイルを選択します。

再生の途中で F2 [◀] ボタンを押すとファイルの先頭へ戻り、ファイルの先頭で F2 [◀] ボタンを押すと、1つ前のファイルの先頭にスキップします。

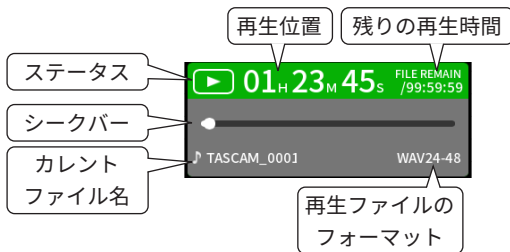
ファイルの先頭、または途中で F3 [▶] ボタンを押すと、次のファイルへスキップします。

早戻しサーチ / 早送りサーチする

本体の ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押している間早戻しサーチまたは早送りサーチします。

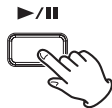
画面の説明

プロジェクトステータスバー



再生 / 一時停止

停止中 / 一時停止中に ▶ / || ボタンを押すと、再生を始めます。



停止する

再生中に ■ / HOME ボタンを押すと、再生を停止します。



再生位置を移動する（早戻し / 早送り）

本体の ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押すと早戻しまたは早送りで再生位置を移動できます。

移動中に移動方向と同方向のボタンを押すと移動速度が上がります、反対方向のボタンを押すと移動速度が下がります。

移動速度は、3段階切り換わります。

メモ

早戻しまたは早送りでの再生位置の移動は、ファイルを跨いで移動できません。

10. ファイル操作

録音したデータは、microSD カードの SOUND フォルダに保存されます。

本機で録音、再生できるファイルは、wav (BWF 含む) です。

10-1. ファイル名について

本機で録音したファイルは、以下の規則で名前付けされます。

プロジェクト名 チャンネル
TASCAM_0001-1.wav

ユーザー指定文字列 ファイル番号

ユーザー指定文字列

タイプ設定が日付のとき

YYMMDD (Y:年、M:月、D:日)

年は下2桁、月と日は2桁で挿入されます。

タイプ設定がワードのとき

任意の文字列 (6 から 9 文字) を指定可能です。

初期値は「AV2-00000」です。

使用可能文字は以下の通りです。

アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字 0 ~ 9
記号 ! # \$ % & ' () + , - . ; = @ [] ^ _ ` { } ~ (スペース)

ファイル番号

記録した順番を示します。

初期値は「0001」です。

チャンネル番号

どのチャンネルを記録しているか示します。

ステレオリンク：オフのとき

チャンネル番号 1、2

ステレオリンク：オンのとき

リンクしているチャンネル番号 1_2

プロジェクト名

ユーザー指定文字列とファイル番号をアンダースコア (「_」) で繋げたものです。

録音するたびにファイル番号が繰り上がるため、プロジェクトも録音するたびに変わります。プロジェクトについては 38 ページ「10-4. プロジェクトについて」を参照して下さい。

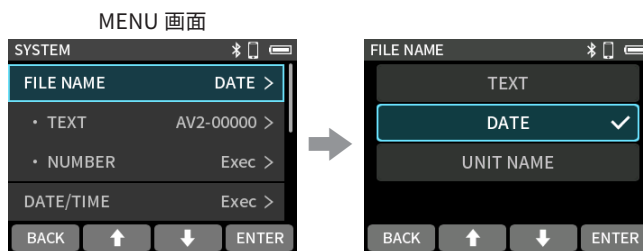
メモ

録音時にユーザー指定文字列とファイル番号が同じものが既に存在する場合は、ファイル番号の後に「[...]」が付けられます。(--- は 001 から始まる 3 桁の数字)

例：YYMMDD_0001[001]-1.wav

ファイル名の付け方を変更する

STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面を表示します。



SYSTEM > FILE NAME を選択して F4 [OUTPUT] ボタンを押す。

設定を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

FILE NAME

ファイル名の先頭文字列を設定します。

DATE (初期値)

日時をファイル名に付けます。

YYMMDD (Y:年、M:月、D:日)

年は下2桁、月と日は2桁で挿入されます。

TEXT

ワードで設定した任意の文字列 (6 文字以上 9 文字以内) をファイル名に付けます。

初期値は「AV2-00000」です。

UNIT NAME

機器の個体名をファイルの名前に付けます。

メモ

- 日付を選択した場合、本体内時計の日時を基にファイル名が付けられます。あらかじめ時計を合わせておくと、録音日時を正確に記録できます。
- UNIT NAME は、事前に専用コントロールアプリで設定しておく必要があります。設定方法は専用コントロールアプリのマニュアルをご参照ください。
UNIT NAME 未設定時は、「FR-AV2」をファイル名に付けます。

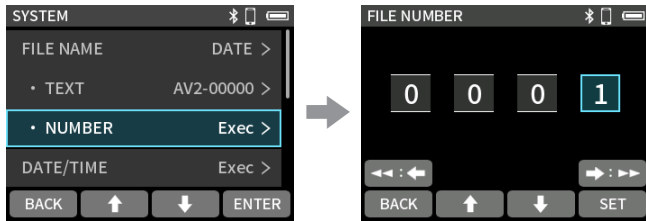
TEXT

STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面 > SYSTEM > FILE NAME ・ TEXT で設定します。

文字入力については、19 ページ「文字入力」をご参照ください。

ファイル番号を設定する

STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面を表示します。



SYSTEM > FILE NAME ・
NUMBER を選択して
F4 [ENTER] ボタンを押す。

- F2 [↑] / F3 [↓] ボタンを使って数字を変更
- ◀◀ [←] / ▶▶ [→] ボタンを使ってカーソルを移動
- F4 [SET] ボタンを押して確定

メモ

- 録音時にファイル名とファイル番号が同じものが既に存在する場合は、ファイル番号の後に「[---]」が付けられます。(--- は 001 から 999 までの 3 桁の数字)
- 専用コントロールアプリによる METADATA 機能がオンの場合は、無効になります。

10-2. ファイル・プロジェクト構造について

フォルダー

microSD カードを本機でフォーマットすると SOUND、UTILITY フォルダーが作成されます。

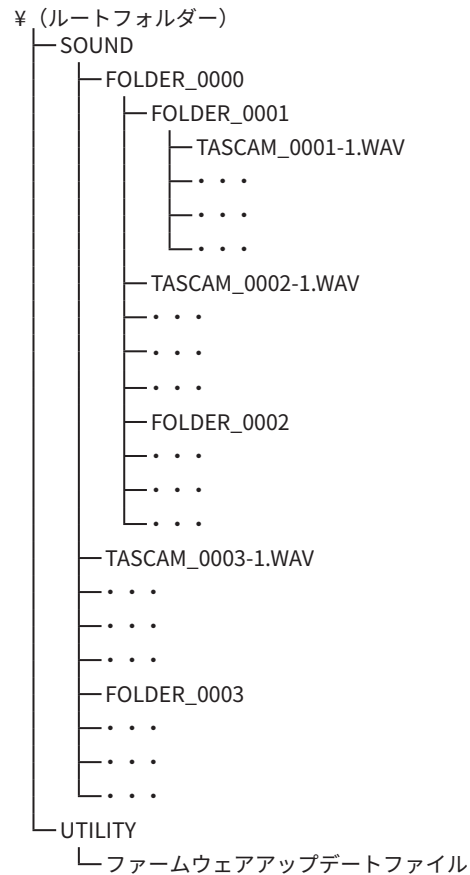
録音したデータは、SOUND フォルダーに保存されます。
SOUND フォルダー内にフォルダーを作ることができます。
必要に応じて作成してください。(39 ページ)

録音データ

録音したデータは、カレントフォルダーに保存されます。
microSD カードフォーマット後は、SOUND フォルダーがカレントフォルダーになります。
カレントフォルダーを変更するには、BROWSE 画面でフォルダーを選択し、OPEN を選択します。(41 ページ「10-8. 録音プロジェクトの保存先を指定する」)

10-3. フォルダーツリーの例

本機で使用する microSD カード内のフォルダーツリーの例を図示します。



- SOUND、UTILITY フォルダーはフォーマット時に自動作成します。
- サブフォルダーは 2 階層まで作成できます。
- ファイル、フォルダー総数の上限は 1000 個です。
- SOUND フォルダー以下を BROWSE 画面に表示します。

10. ファイル操作

10-4. プロジェクトについて

1 回の録音時に作成されるファイルをまとめてプロジェクトと呼びます。

ユーザ指定文字列からファイル番号までが同じファイルが同一プロジェクトのファイルになります。プロジェクト名については、36 ページ「10-1. ファイル名について」をご参照ください。プロジェクト名の付け方は、ファイル名の付け方を変えると同時に変わります。(36 ページ「ファイル名の付け方を変更する」)

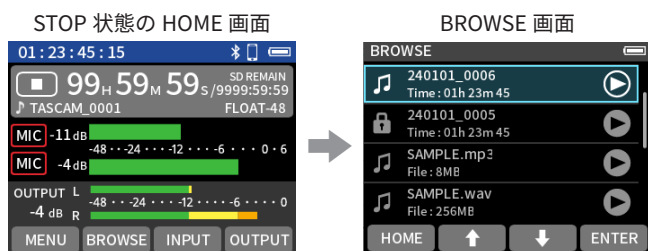
例

プロジェクト名	同一プロジェクトのファイル
TASCAM_0001	TASCAM_0001-1.WAV
	TASCAM_0001-2.WAV
TASCAM_0002	TASCAM_0002-1_2.WAV

- パソコンや外部から取り込んだ本機で作成していないファイルもプロジェクトとして扱い、1 ファイルで 1 プロジェクトになります。

10-5. BROWSE 画面の使い方

挿入されている microSD カードのファイル操作と簡易再生を行います。

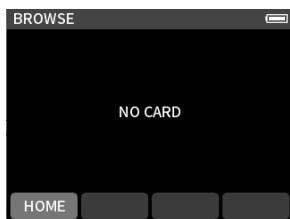


F2 [BROWSE] ボタンを押す。

ファンクションボタン	動作
F1 [HOME]	HOME 画面を表示する
F2 [↑]	カーソル (上記ハイライト箇所) を上方向に 1 つ動かす (一番上のときは動作なし)
F3 [↓]	カーソル (上記ハイライト箇所) を下方向に 1 つ動かす (一番下のときは動作なし)
F4 [ENTER]	カーソル位置のフォルダーやファイルを選択する

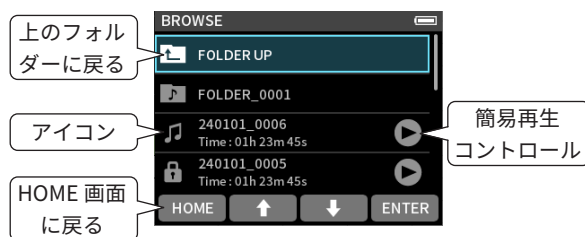
メモ

microSD カードが挿入されていないと以下の画面が表示されます。F1 [HOME] ボタンを押して HOME 画面に戻り、microSD カードを挿入してください。




10-6. フォルダの操作

画面の説明



アイコン

再生可能なファイルは、音符マークのアイコンを表示します。フォルダーの場合は、 を表示します。

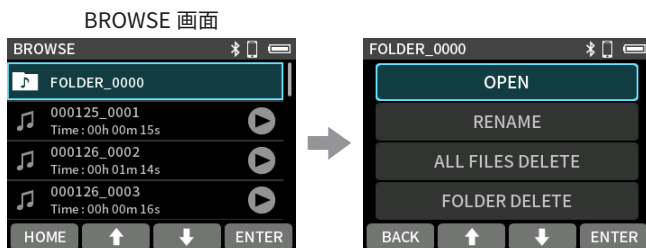
フォルダー / ファイル名

F4 [ENTER] ボタンを押すとフォルダーメニュー / ファイルメニューが表示されます。

簡易再生コントロール

▶/|| ボタンを押すと再生、再生中に ■ / HOME を押すと停止します。

フォルダの移動

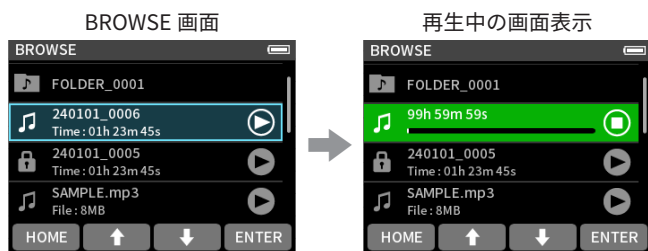


移動先のフォルダーを選択し、F4 [ENTER] ボタンを押す。

OPEN を選択し、F4 [ENTER] ボタンを押す。

- 1 つ上のフォルダーに移動するときは、「FOLDER UP」を選択してください。

ファイル簡易再生

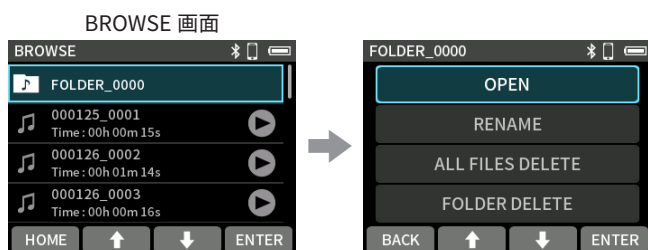


再生するファイルを選択し、▶/|| ボタンを押す。

再生を停止するときは、■ / HOME ボタンを押します。

- ファイル簡易再生には一時停止、早送りや早戻しの機能はありません。一時停止、早送りや早戻しを行いたいときは、35 ページ「9-1. 再生画面を開く」をご参照ください。

フォルダーメニュー



フォルダーを選択し、F4 [ENTER] ボタンを押す。

項目を選択し、F4 [ENTER] ボタンを押す。

OPEN

フォルダーの内部を表示します。

RENAME

名前編集画面でフォルダー名を編集します。

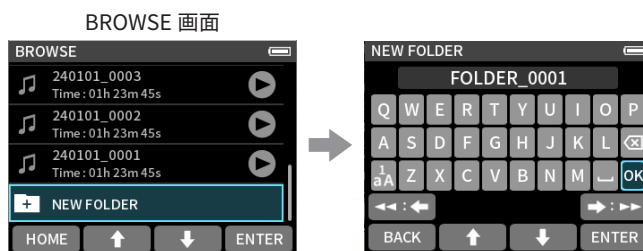
ALL FILES DELETE

フォルダー内の全てのプロジェクト、ファイルを消去します。ただし、フォルダーは削除しません。

FOLDER DELETE

フォルダーを消去します。

フォルダーの作成 (NEW FOLDER)



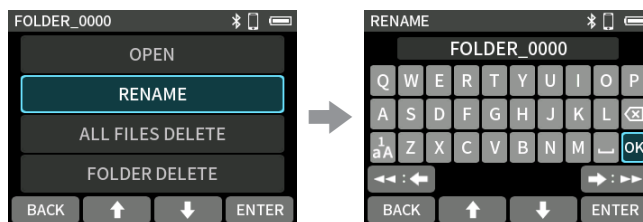
「NEW FOLDER」を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

フォルダー名を入力し F4 [ENTER] ボタンを押す。

- FOLDER+ 番号のフォルダーが存在する場合、「NEW FOLDER」選択し F4 [ENTER] ボタンを押すと FOLDER+ (番号+1) が初期値として表示されます。この名前を変更したい場合は、RENAME してください。
- 文字の入力方法は 19 ページ「文字入力」をご参照ください。

フォルダーの名前変更 (RENAME)

BROWSE 画面で目的のフォルダーを選択し、F4 [ENTER] ボタンを押して以下の操作をします。



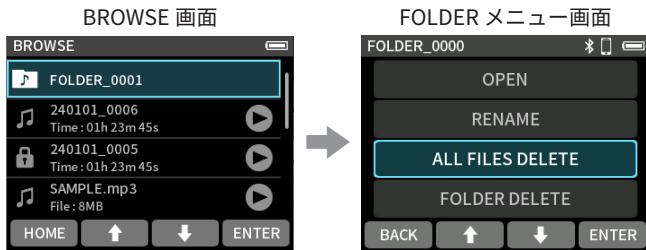
「RENAME」を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

フォルダー名を入力し F4 [ENTER] ボタンを押す。

- 文字の入力方法は 19 ページ「文字入力」をご参照ください。
- 変更できるフォルダー名の文字数は 1 文字以上 11 文字以内です。

10. ファイル操作

フォルダー内のファイル全削除 (ALL FILES DELETE)



フォルダーを選択して
F4 [ENTER] ボタンを押す。

「ALL FILES DELETE」を選択
し F4 [ENTER] ボタンを押す。

メモ

選択したフォルダーは削除されません。

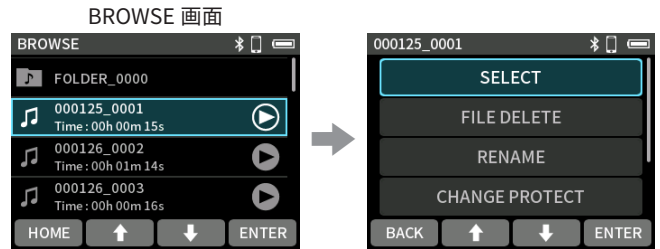
フォルダーの削除 (FOLDER DELETE)

1. BROWSE 画面で目的のフォルダーを選択し、F4 [ENTER] ボタンを押す。
2. 「FOLDER DELETE」を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

メモ

フォルダー内にファイルが残っていると、フォルダー削除はできません。フォルダー内のファイル全削除をしてからフォルダーを削除してください。

10-7. ファイル・プロジェクトの操作



ファイルを選択し、
F4 [ENTER] ボタンを押す。

項目を選択し、F4 [ENTER]
ボタンを押す。

ファイルメニュー

SELECT

選択したファイルをカレントプロジェクトにします。

FILE DELETE

プロジェクトを削除します。

RENAME

プロジェクト名を変更します。

本機で録音したプロジェクトのみ変更が可能です。変更できる文字数は6文字以上9文字以内です。

CHANGE PROTECT

プロジェクト内のファイル保護を設定、解除します。

FILE INFORMATION

プロジェクト内のファイル情報を表示します。

MARK

マーカー一覧を表示します。

選択 (SELECT)

選択したファイルがカレントプロジェクトになり、HOME 画面が表示されます。

本体の ▶/|| ボタンを押すとカレントプロジェクトを再生します。

カレントプロジェクトについて

プロジェクトステータスバーに表示されているファイル名がカレントプロジェクトです。録音や再生をするとカレントプロジェクトが切り換わります。

プロジェクトを削除する (FILE DELETE)

1. BROWSE 画面で削除するプロジェクト名を選択し、F4 [ENTER] ボタンを押す。
2. 「FILE DELETE」を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

メモ

プロテクト (読み取り専用) がかかっているファイルは削除されません。

名前変更 (RENAME)

プロジェクト名を変更します。

1. BROWSE 画面で名前を変更するファイル名を選択し、F4 [ENTER] ボタンを押す。
2. 「RENAME」を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。
3. 新しいファイル名を入力し F4 [ENTER] ボタンを押す。
 - 文字の入力方法は 19 ページ「文字入力」をご参照ください。

プロテクト設定、解除 (CHANGE PROTECT)

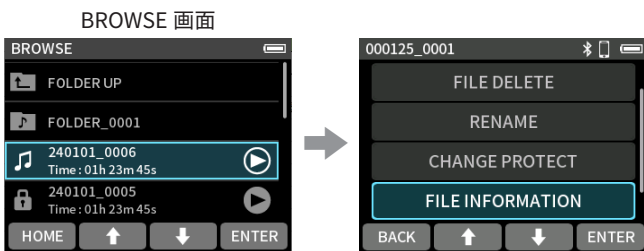
プロジェクトのプロテクトを設定、解除することができます。

1. BROWSE 画面でプロテクトを設定、解除するファイル名を選択し、F4 [ENTER] ボタンを押す。
2. 「CHANGE PROTECT」を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。プロテクトが設定、解除されます。

メモ

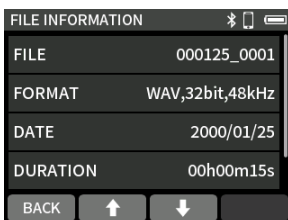
プロテクトされているファイルのアイコンは鍵マーク (🔒) が表示されます。

ファイル情報 (FILE INFORMATION)



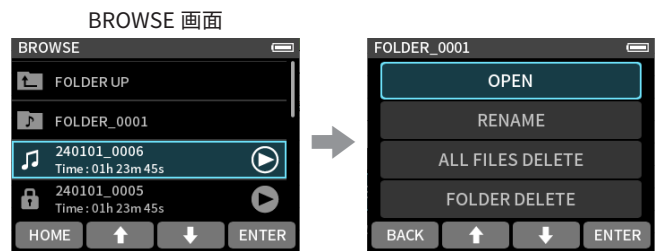
プロジェクト名を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

「FILE INFORMATION」を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。



プロジェクト名、録音形式、録音日時、再生時間、ファイルサイズを表示します。

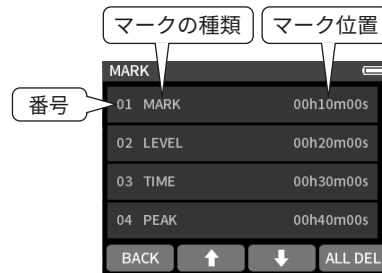
マーク一覧を見る (MARK)



プロジェクト名を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

「MARK」を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

マーク一覧が表示されます。



マークの種類については 42 ページ「11. マーク機能」をご参照ください。

マークの削除

上記マーク一覧画面の F4 [ALL DEL] ボタンを押すとマークがすべて削除されます。

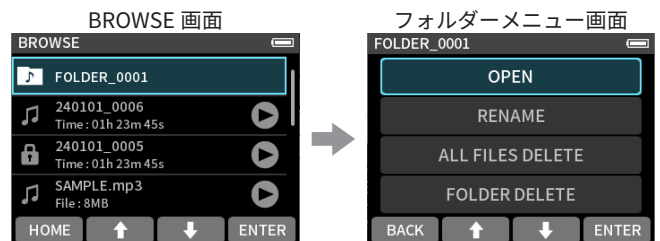
メモ

任意のマークを消す場合は、42 ページ「11-3. マークを消去する」をご参照ください。

10-8. 録音プロジェクトの保存先を指定する

録音データは、カレントフォルダーに保存されます。

以下の手順で選択したフォルダーがカレントフォルダーになります。



カレントにするフォルダーを選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

「OPEN」を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

メモ

カレントプロジェクトを選択すると、カレントプロジェクトのフォルダーがカレントフォルダーになります。

11. マーク機能

11-1. マークの種類

マークの種類とそのマークが付けられる条件は、次の通りです。

MANUAL

手動で付けたマーク

TIME

設定した録音時間を経過したとき

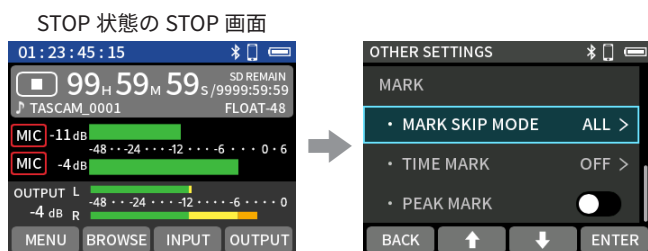
PEAK

入力信号がピークレベルを超えたとき

BUFFER OVERFLOW (BOF)

録音中に microSD カードへの書き込みエラーが発生したとき

11-2. マークをつける



F1 [MENU] ボタンを押す。

OTHER SETTINGS を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

自動でマークをつける (TIME MARK)

MARK・TIME MARK 項目で設定します。

OFF (初期値)

自動でマークを付けません。

5min, 10min, 15min, 30min, 60min

録音中に設定した時間が経過すると、自動でマークを付けます。

ピークレベル時にマークをつける (PEAK MARK)

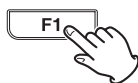
MARK・PEAK MARK 項目で設定します。

オンにすると録音時に入力信号がピークレベルを超えたときに自動でマークを付けます。録音終了後にピークレベルを超えた部分を探すために利用できます。

選択肢：OFF (初期値) / ON

手動でマークをつける

録音待機中または録音中、再生中に本体の F1 [MARK] ボタンを押すと、任意の位置にマークを付けることができます。



マークを付けるとディスプレイの上部にマークの情報がポップアップ表示されます。

11-3. マークを消去する

マークは、マーク位置に停止中／一時停止中に F1 [MARK] ボタンを押すと消去することができます。マークを削除するとディスプレイの上部に削除したマークの情報がポップアップ表示されます。

マークの一括削除

41 ページ「マークの削除」をご参照ください。

11-4. 設定したマークへジャンプする (MARK SKIP MODE)

F1 [MARK] ボタンを押しながら F2 [◀] / F3 [▶] を押すことで、前後の MARK 位置に移動することができます。

選択肢：ALL (初期値) / MANUAL / TIME / PEAK / BOF

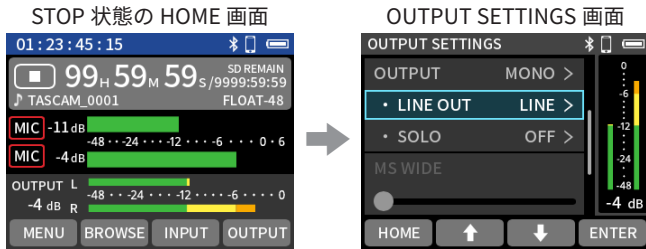
メモ

異なるファイルのマークへの移動はできません。

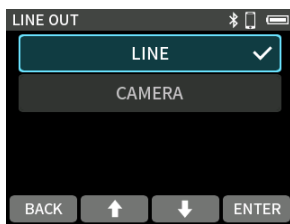
11-5. マークのリスト表示

41 ページ「マーク一覧を見る (MARK)」をご参照ください。

12-1. カメラ用に出力を設定する



F4 [OUTPUT] ボタンを押す。



設定する項目を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

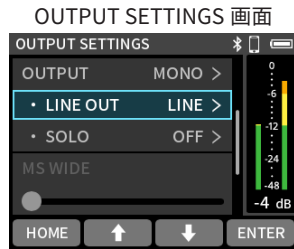
LINE (初期値)

📷 / LINE / TC OUT 端子の出力は減衰されません。
「OUTPUT LEVEL」を調節することで0～-60 dBの範囲で減衰することができます。これにより、カメラに対して適切なレベルで音声を入力することができます。

CAMERA

📷 / LINE / TC OUT 端子の出力が-20 dB 減衰されます。
「OUTPUT LEVEL」を調節することで-20～-80 dBの範囲で減衰することができます。

「OUTPUT LEVEL」の調節は、29 ページ「6-5. 音量調節」をご参照ください。

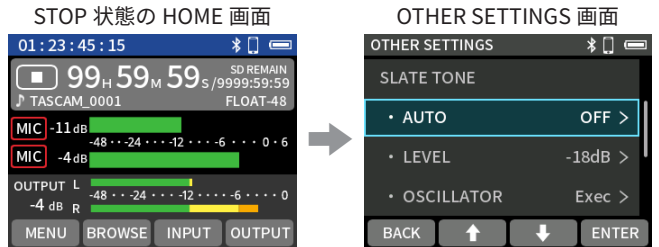


OUTPUT SETTINGS >
OUTPUT・LINE OUT を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

12-2. オートトーン機能を使う (SLATE TONE・AUTO)

オートトーン機能は、録音開始時や録音終了時に自動的にトーン信号を挿入する機能です。

左サイドパネルの📷 / LINE / TC OUT 端子をカメラの音声入力端子に接続すると、同じトーン信号がお互いのファイルに記録されるので、動画編集ソフトで位置合わせの際に目安にすることができます。



F1 [MENU] ボタンを押す。

OTHER SETTINGS > SLATE TONE を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

オートトーン機能 (AUTO)

トーン信号を挿入する位置を設定します。

OFF (初期値)

トーン信号を挿入しません。

HEAD

録音開始時のみ挿入します。

HEAD+TAIL

録音開始時と終了時の両方に挿入します。

トーンの音量調節機能 (LEVEL)

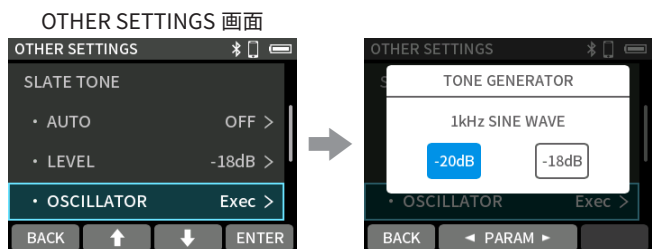
トーン音量を設定します。

選択肢： -12dB/-18dB (初期値) /-24dB/-30dB/-36dB

オシレータ機能 (OSCILLATOR)

トーン信号を出力します。

接続したカメラでレベルの確認をするときにお使いください。



OSCILLATOR を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

F2 [◀PARAM] / F3 [PARAM▶] ボタンで出力レベルを選択する。

13. USB 接続

13-1. パソコンと接続する

22 ページの「5-6. パソコンやスマートフォンと接続する」をご参照ください。

13-2. iOS デバイスと接続する

Lightning 端子を搭載する iOS デバイスと接続するには、Lightning-USB カメラアダプタと USB ケーブル (Type-A - Type-C) が必要です。

Type-C 端子を搭載する iOS デバイスと接続するには、USB ケーブル (Type-C - Type-C) が必要です。

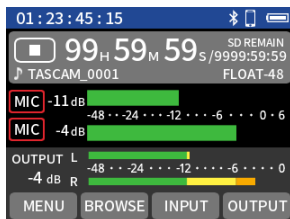
メモ

- 本機と接続時、本機から iOS デバイスへの電源供給は行われません。
- 電源設定を電池駆動に設定してください。

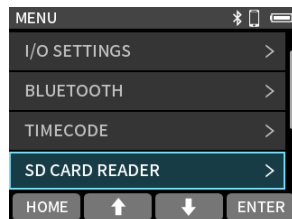
13-3. パソコンから microSD カードにアクセスする

本機の画面が切り換わり、パソコンで本機が認識されると、本機に挿入している microSD カードにアクセスできます。

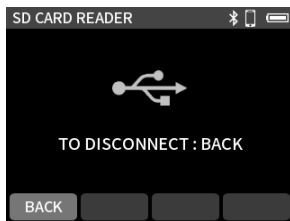
STOP 状態の HOME 画面



F1 [MENU] ボタンを押す。



SD CARD READER を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。



パソコンから取り外すときは

パソコン側で指定された手順に従ってメディアを取り外し、F1 [BACK] ボタンを押す。

パソコンとファイルをやり取りする

パソコン上の「FR-AV2」ドライブをクリックすると、「SOUND」フォルダーと「UTILITY」フォルダーが表示されます。

パソコンからファイルを取り込むには、パソコンの任意の音声ファイルを「SOUND」フォルダーにドラッグ & ドロップします。逆に、microSD カードからパソコンにファイルを取り込むには、「SOUND」フォルダー内の音声ファイルをパソコンの任意のフォルダーにドラッグ & ドロップします。

ヒント

- パソコン上の操作で、「SOUND」フォルダー内を管理することができます。
- 「SOUND」フォルダー内にサブフォルダーを作成することができます。サブフォルダーは、2 階層まで作成できます。本機では、3 階層以上のサブフォルダーおよびファイルは認識できません。

メモ

本機の microSD カードを抜いたり F1 [BACK] ボタンを押す前に、パソコン側で指定された手順に従ってメディアを取り外して下さい。

13-4. ASIO ドライバを使用する

Windows の場合は、FR-AV2 用 ASIO ドライバを使用することができます。詳細は、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) の本機の製品ページをご参照ください。

メモ

Mac の場合は、OS 標準ドライバーを使用するため、専用ソフトウェアをインストールする必要はありません。

13-5. オーディオインターフェースとして使用する

本機にパソコンを USB ケーブルで接続することで、USB オーディオインターフェースとして使用することができます。

メモ

- 本機で再生する音声は USB へ送られません。
- USB の入力には、REC LEVEL / DELAY / LOW CUT / DYNAMICS / EQ / NOISE GATE / PHASE INVERT は使用できません。


本機に microSD カードを挿入している場合

1. 本機とパソコンのサンプリング周波数設定は手動で同じ設定にしてください。
本機のサンプリング周波数を変更する方法は、33 ページの「8-2. 録音ファイルのフォーマットを変更する」をご参照ください。
2. サンプリング周波数を変更した後に録音または録音待機状態にすることで、音声を通るようになります。

本機に microSD カードを挿入していない場合

パソコンのサンプリング周波数に従って、本機は動作します。

FR-AV2 USB オーディオのチャンネルアサイン

USB チャンネル	信号
USB IN 1-2	INPUT 1-2 または  / EXT / TC IN から選択した方の入力信号

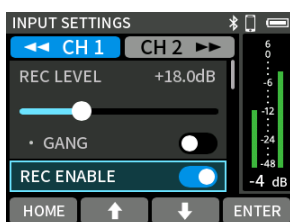
- 選択された入力に対し、「REC LEVEL」と「PHASE」設定のみ有効となった信号がパソコンに送られます。

メモ

USB オーディオインターフェースモードのとき、オートパワーセーブ機能は無効となります。

本機の入力をパソコンへの入力音声として使う場合

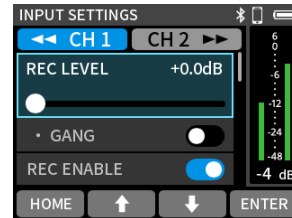
1. パソコンと本機を USB ケーブルで接続する。
2. パソコン側の音声入力デバイスを「FR-AV2」に設定する。
本機とパソコンのサンプリング周波数を同じ設定にしてください。
3. パソコンへの入力として使用したい入力端子が割り当てられたチャンネルの「REC ENABLE」の設定を「ON」にする。



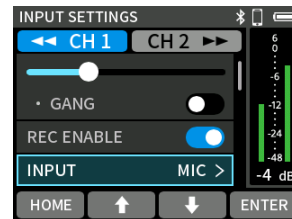
スライドスイッチの設定方法は、19 ページ「スライドスイッチ」をご参照ください。

パソコンの出力を本機への入力音声として使う場合

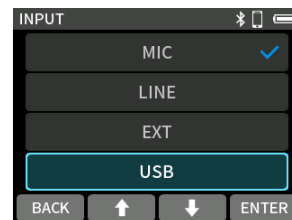
1. パソコンと本機を USB ケーブルで接続する。
2. パソコン側の音声出力デバイスを「FR-AV2」に設定する。
本機とパソコンのサンプリング周波数の設定を同じ設定にしてください。
3. STOP 状態の HOME 画面で F3 [INPUT] ボタンを押す。



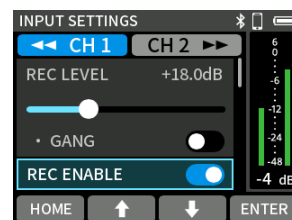
4. 「INPUT」を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。



5. パソコンからの音声を割り当てるチャンネルに「USB」を割り当てる。



6. USB が割り当てられたチャンネルの「REC ENABLE」を「ON」にする。



スライドスイッチの設定方法は、19 ページ「スライドスイッチ」をご参照ください。

メモ

USB の音量はパソコン側で調整してください。

14. リモートコントロール機能

本機の Bluetooth 機器接続端子に別売の Bluetooth アダプター (AK-BT2) を接続すると、コントロールアプリを使って、iOS/Android デバイスから本機を操作できます。

TASCAM RECORDER CONNECT では最大 5 台の FR-AV2 及び DR-10L Pro を同時コントロール可能です。

また、TASCAM RECORDER CONNECT には最大 99 個までの FR-AV2 及び DR-10L Pro の情報を登録可能です。

注意

- Bluetooth 対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- Bluetooth 機能を使用した場合のデータ損失に関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。

メモ

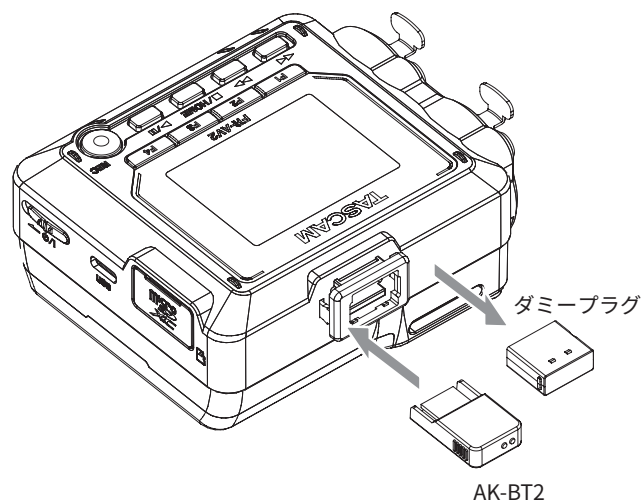
Bluetooth アダプター (AK-BT2) の見通し通信距離は約 10m です。(通信距離は目安です。周囲の環境や電波状況により通信距離は変わる場合があります。)

14-1. 専用コントロールアプリをインストールする

1. 端末をインターネットに接続してください。
2. Android 端末の場合は Google Play から、iOS 端末の場合は App Store から、「TASCAM RECORDER CONNECT」を検索し、ダウンロードおよびインストールを実施してください。
- インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

14-2. 本機と Bluetooth 接続する

1. 本機の Bluetooth 接続機器端子のカバーを外し、AK-BT2 を本体に差し込む。



- 端子が本体画面側になるよう差し込む。

2. スマートフォン/タブレット端末の Bluetooth 接続を有効にする。

注意

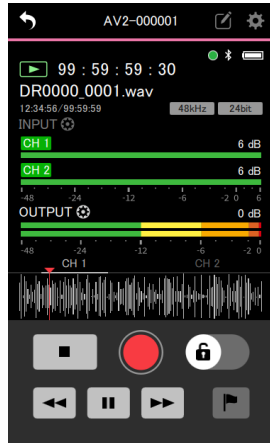
- iOS/iPad 端末および Android 端末の Bluetooth デバイス一覧画面からはペアリングを実行しないでください。必ず TASCAM RECORDER CONNECT を起動してペアリングを行ってください。
- Android 端末の場合、端末の位置情報の設定を「オン」にして、TASCAM RECORDER CONNECT の「位置情報の権限」を「許可」または「使用時のみ許可」に設定してください。

メモ

操作方法は、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

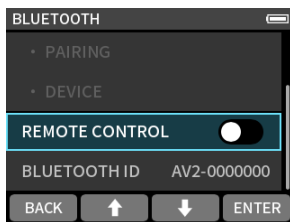
14-3. 専用コントロールアプリと接続する

1. スマートフォン／タブレット端末を操作して、TASCAM RECORDER CONNECT を起動する。



Bluetooth 端末の画面

2. 本機の電源を入れていない場合、本体の電源を入れる。
3. 本機の MENU 画面 > BLUETOOTH > REMOTE CONTROL を「ON」にする。
初期値は「OFF」。



接続状況は HOME 画面右上のスマホアイコンの点灯状況で確認できます。

点灯状況	内容
消灯	ペアリング未
点滅	ペアリング待機状態
点灯	ペアリング中

接続が完了すると、スマートフォン / タブレット端末の表示が自動で操作画面に切り換わります。

メモ

- コントロールアプリの使用方法は、TASCAM RECORDER CONNECT の取扱説明書をご参照ください。
- コントロールアプリには、本体の MENU 画面 > BLUETOOTH > BLUETOOTH ID で識別されます。

14-4. Atomos 社の対応製品とのワイヤレスタイムコード同期

本機の Bluetooth 機器接続端子に別売の Bluetooth アダプター (AK-BT2) を接続すると、Atomos 社の AtomX SYNC/UltraSync BLUE などと接続して、タイムコードを受信することができます。受信されたタイムコードは本機の録音ファイルに記録されます。このタイムコード情報により、複数の機器で作成された映像 / 音声ファイルの位置合わせが容易になります。

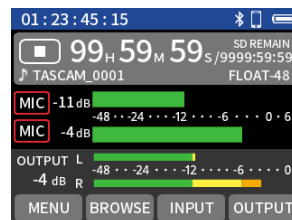
メモ

- MENU 画面 > TIMECODE > MASTER の設定を「ATOMOS」にしてください。(49 ページ「15-1. TIMECODE の選択」)

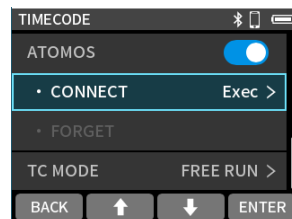
Atomos 社の対応製品と接続する

本機の Bluetooth 接続機器端子のカバーを外し、AK-BT2 を本機に差し込んでから以下の操作をしてください。

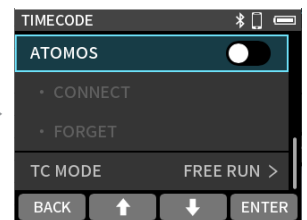
STOP 状態の HOME 画面



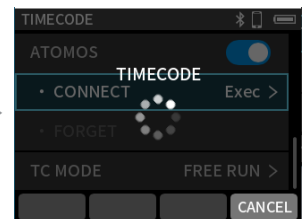
F1 [MENU] ボタンを押す。



ATOMOS・CONNECT を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。



TIMECODE > ATOMOS を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。



ペアリングが完了すると CONNECT がグレースアウト表示になります。

- ペアリングを行う Atomos 社の製品もペアリング操作が必要です。操作方法は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。
- TIMECODE 情報を確認するには、51 ページ「TIMECODE 情報」をご参照ください。

14. リモートコントロール機能

Atomos 社の対応製品との接続を解除する

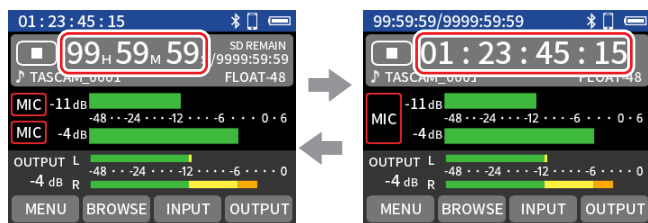
本機の STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面 > TIMECODE > ATOMOS の「OFF」を選択する。

別の AtomX SYNC/UltraSync BLUE などと接続する

ペアリング済の AtomX SYNC/UltraSync BLUE などから別の AtomX SYNC/UltraSync BLUE などと接続する場合は、一度ペアリングを解除する必要があります。

1. 本機の STOP 状態の HOME 画面で F1 [MENU] ボタンを押して、MENU 画面 > TIMECODE > ATOMOS を「ON」にする。
2. TIMECODE > ATOMOS・FORGET を選択し F4 [ENTER] ボタンを押して、ペアリング情報をクリアする。
3. TIMECODE > ATOMOS・CONNECT を選択して F4 [ENTER] ボタンを押して、新しい AtomX SYNC/UltraSync BLUE などを探してペアリングする。

AtomX SYNC/UltraSync BLUE など接続中の表示

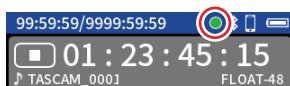


時分秒表示

受信タイムコード表示

F4 ボタンを長押しすると時分秒表示と受信タイムコード表示が切り換わります。

接続状態



緑点滅		AtomX SYNC/UltraSync BLUE などからタイムコードを受信中
赤点滅		最後に受信したタイムコードをもとに自走中
消灯		ペアリング済みだが、受信 / 自走していない

タイムコードを自走させながらリモートコントロールする

本機は、最後に受信したタイムコードで自走しながらリモートコントロールアプリを使用することができます。

1. タイムコード機能をオンにして、Atomos 社の対応製品とタイムコード同期する。(47 ページ「Atomos 社の対応製品と接続する」)
2. Atomos 製品の対応製品とのタイムコード同期を解除する。(48 ページ「Atomos 社の対応製品との接続を解除する」)

このとき、本機は最後に受信したタイムコード情報をもとに自走状態になります。

メモ

自走は本機のクロック精度で行います。

3. 専用コントロールアプリ TASCAM RECORDER CONNECT と接続する。(47 ページ「14-3. 専用コントロールアプリと接続する」)

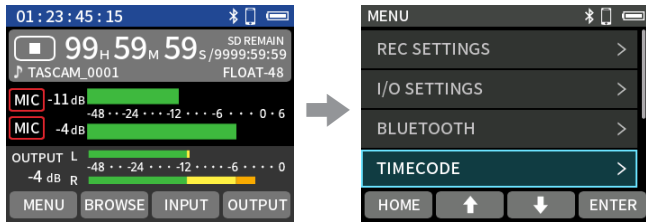
以上の手順で、最後に受信したタイムコードで自走しながらリモートコントロールができるようになります。

FR-AV2 のタイムコードジェネレーターは通常 FREE RUN で動作します。

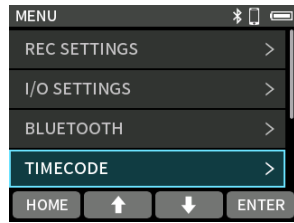
起動時には、本機の内蔵時計の時刻（16 ページ「日時を設定する」）からスタートします。

TIMECODE の設定メニューを表示するには以下の操作を行います。

STOP 状態の HOME 画面



F1 [MENU] ボタンを押す。

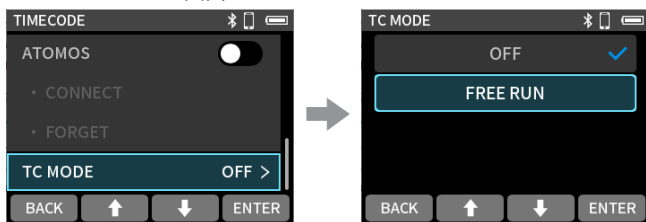


TIMECODE を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

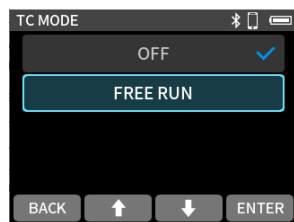
15-1. TIMECODE の選択

TC MODE

TIMECODE 画面



「TC MODE」を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。



使用する設定を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

OFF

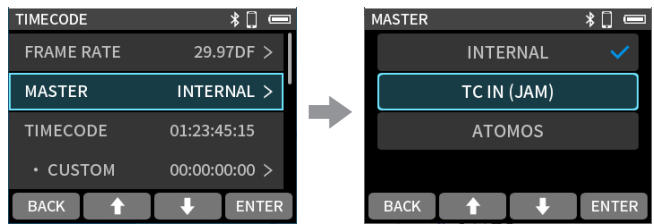
TIMECODE を使用しない。
HOME 画面に TIMECODE は表示されません。

FREE RUN (初期値)

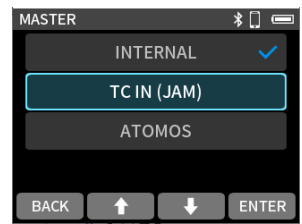
TIMECODE を使用します。
HOME 画面に TIMECODE が表示されます。

MASTER

TIMECODE 画面



「MASTER」を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。



使用する設定を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

INTERNAL (初期値)

FR-AV2 をマスターとする設定です。FR-AV2 をタイムコードマスターとして使う場合に設定します。

TC IN (JAM)

カメラ/EXT/TC IN 端子から入力された TIMECODE をマスターとする設定です。TIMECODE 入力に対して JAM SYNC します。

ATOMOS

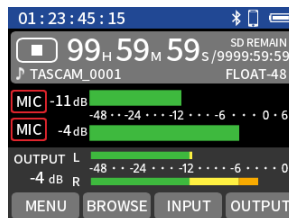
ATOMOS 社の Bluetooth タイムコードをマスターとする設定です。

COUNTER VIEW

SUB (初期値) / MAIN

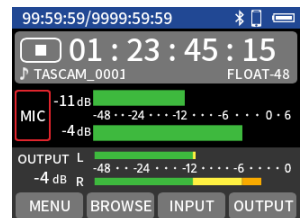
TC MODE が「OFF」以外の時、HOME 画面上のカウンターとタイムコードの表示位置を入れ換えることができます。

STOP 状態の HOME 画面



COUNTER VIEW の設定が
SUB のとき

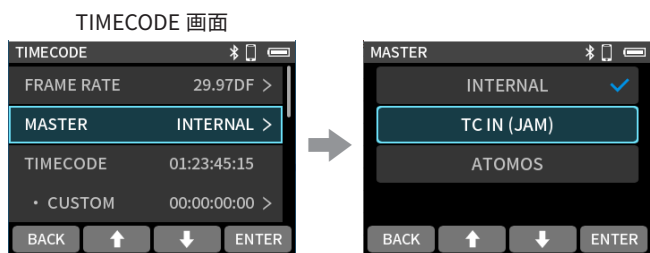
STOP 状態の HOME 画面



COUNTER VIEW の設定が
MAIN のとき

15. タイムコード機能

有線で TIMECODE を受信する



MASTER を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

「TC IN (JAM)」を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

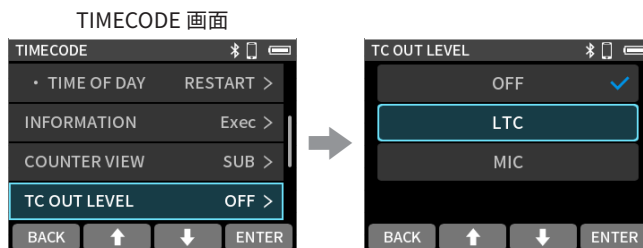
- INPUT 画面 > INPUT が「EXT」のとき「TC IN (JAM)」を選択すると EXT 入力の L 側はオフとなり、入力音声は無音となります。
- TC IN から TIMECODE を本機に読ませる場合、LTC の規定レベル範囲の入力が必要です。
- ④/EXT/TC IN 端子からオーディオを入力するときは「TC IN (JAM)」以外を選択してください。
- TIMECODE を受信した後に ④/EXT/TC IN 端子に接続されているケーブルを抜くと、本機は最後に受信したタイムコード情報をもとに自走状態になります。(JAM SYNC)

Bluetooth で TIMECODE を受信する

MASTER を「ATOMOS」に設定し、TIMECODE>ATOMOS を「ON」に設定をします。47 ページ「14-4. Atomos 社の対応製品とのワイヤレスタイムコード同期」をご参照ください。

TIMECODE を出力する

TC MODE を「OFF」以外に設定し、以下の設定をします。



TC OUT LEVEL を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

「LTC」または「MIC」を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

OFF (初期値)

LINE OUT からオーディオを出力する。

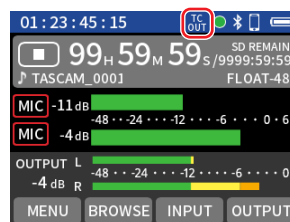
LTC

TIMECODE 出力を別の TIME CODE 受信機器に入力する場合に選択してください。(1.8Vpp)

MIC

TIMECODE 出力をカメラに入力する場合に選択してください。(50mVpp)

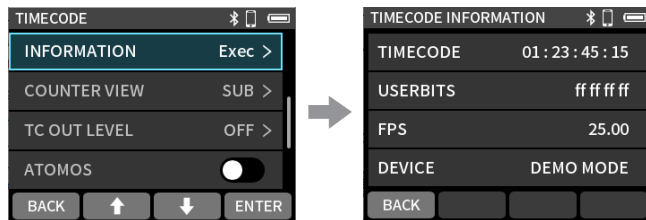
- OUTPUT の設定はタイムコード受信機器の入力の仕様に合わせて選択してください。
- LINE OUT からオーディオを出力するときは「OFF」を選択してください。
- TC OUT LEVEL を LTC/MIC 選択時、LINE OUT から LTC が出力されます。
その際、HOME 画面には TC OUT と表示されます。



TIMECODE 情報

受信または送信しているタイムコードを表示します。

TIMECODE 画面



INFORMATION を選択し
F4 [ENTER] ボタンを押す。

確認したら F1 [BACK] ボタン
を押す。

TIMECODE

タイムコード (時:分:秒:フレーム) を表示します。

USERBITS

AtomX SYNC/UltraSync BLUE など で設定したユーザービット
(日付/時間/シーン番号などの任意の情報) を表示します。

FPS

フレームレートを表示します。

DEVICE

AtomX SYNC/UltraSync BLUE などのデバイス名を表示します。

FRAME RATE

MASTER が「ATOMOS」以外の時、FRAME RATE を変更することが
できます。

23.98 / 24.00 / 25.00 / 29.97 / 29.97DF (初期値) / 30.00 /
30.00DF / 50.00 / 60.00

メモ

MASTER が「TC IN (JAM)」のときは、CAM/EXT/TC IN 端子から
入力されたタイムコードに合わせ、自動的に FRAME RATE が
設定されます。

MASTER が「ATOMOS」のときは、動作中の FRAME RATE が
表示されます。

50.00/60.00 に設定した場合、実際には 25.00/30.00 の FRAME
RATE でタイムコードを生成します。

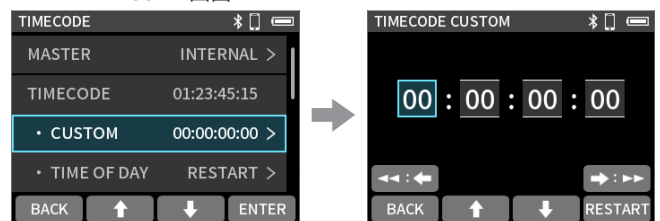
映像は 50.00/60.00 フレームに設定が可能ですが、LTC タイム
コードは規格上 30.00 フレームまでしか規定されていません。
そのため、50.00/60.00 フレームでの撮影時にタイムコードで
同期する場合は、通常その半分のフレームレートを使用します。

タイムコードの設定

TIMECODE に現在のタイムコード (時:分:秒:フレーム) が表示
されます。

RESTART を実行することで、タイムコードの再スタートをする
ことができます。

TIMECODE 画面



CUSTOM を選択し F4 [ENTER]
ボタンを押す。

CUSTOM

任意のタイムコードを設定することができます。

TIMECODE・CUSTOM 画面で F4 [RESTART] ボタンを押すことで、
設定されたタイムコードから再スタートします。

TIME OF DAY

本機の内蔵時計の時間 (16 ページ「日時を設定する」) から
再スタートします。

メモ

MASTER が ATOMOS に設定されている場合、グレイアウトされ
RESTART することはできません。

MASTER が TC IN (JAM) に設定されてタイムコードが実際に
入力されている場合、RESTART は無視されます。

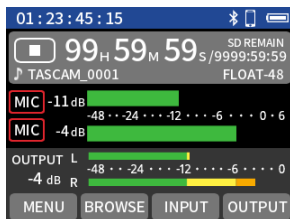
16. ワイヤレスオーディオモニタリング機能

16-1. ワイヤレスオーディオモニタリング

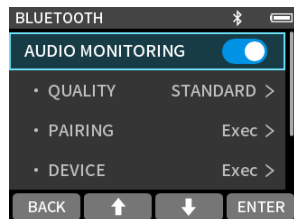
Bluetooth 対応イヤホン / スピーカー等に本機のモニター音を出力することができます。

- Bluetooth 対応イヤホン / スピーカー等を Bluetooth 通信状態に設定してからペアリング、接続操作を行ってください。
- 初期値は「OFF」。

STOP 状態の HOME 画面



F1 [MENU] ボタンを押す。



BLUETOOTH > AUDIO MONITORING の設定を「ON」にする。

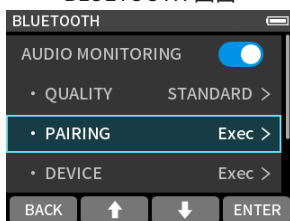
メモ

設定の変更方法は 19 ページ「スライドスイッチ」ご参照ください。

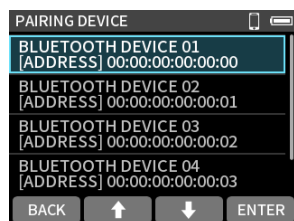
ペアリング

本機を初めて使用する場合、または別の Bluetooth 対応イヤホン / スピーカー等を初めて本機に接続する場合は、本機と Bluetooth 対応イヤホン / スピーカー等をペアリングする必要があります。

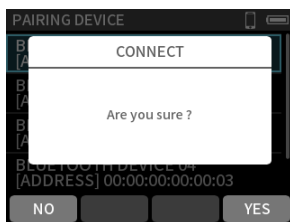
BLUETOOTH 画面



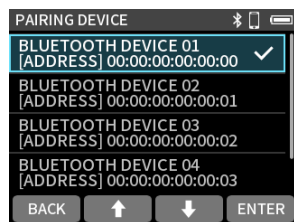
PAIRING を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。



接続する機器を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。



F4 [YES] ボタンを押す。



接続が完了するとデバイス名にチェックが入ります。

接続後は、常時モニター音が出力されます。音量は OUTPUT > OUTPUT LEVEL および Ω (ヘッドホン) ボリュームボタン調節してください。

注意

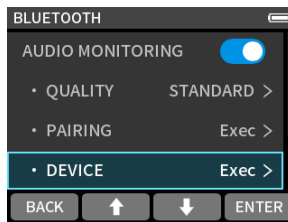
本機のディスプレイには半角のアルファベットと数字 (1 バイト文字) しか表示できません。機器名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、ペアリングは可能ですが、正しく表示できません。

メモ

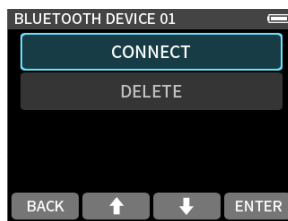
Bluetooth 機器は 20 台まで保存可能です。

ペアリング済み機器との接続

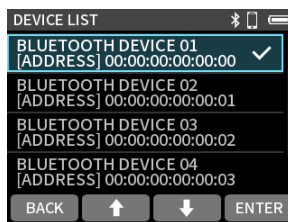
BLUETOOTH 画面



AUDIO MONITORING・DEVICE を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

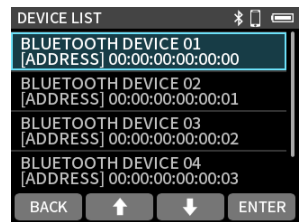


CONNECT を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

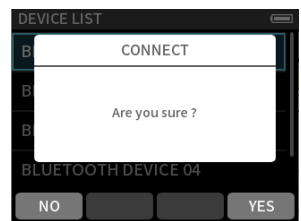


接続が完了するとデバイス名にチェックが入ります。

表示例



接続する機器を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

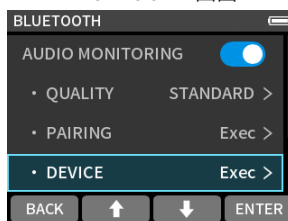


F4 [YES] ボタンを押す。

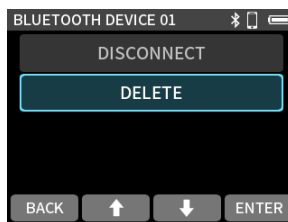
ペアリング情報を削除する

本機はペアリングした Bluetooth 機器を 20 台まで保存しています。自動で接続しないようにするには、この情報を削除します。

BLUETOOTH 画面

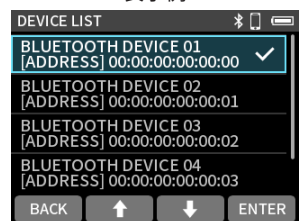


AUDIO MONITORING・DEVICE を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

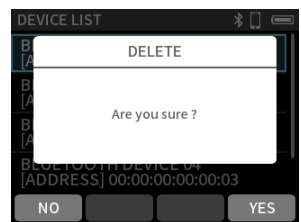


DELETE を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。

表示例



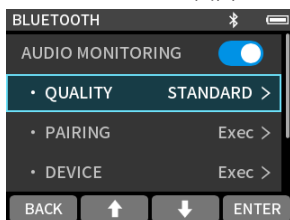
削除する機器を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。



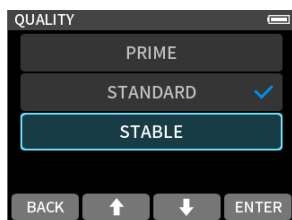
F4 [YES] ボタンを押す。

品質設定 (QUALITY)

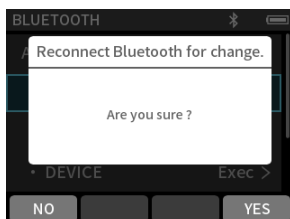
BLUETOOTH 画面



QUALITY を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。



品質を選択し F4 [ENTER] ボタンを押す。



F4 [YES] ボタンを押す。



設定後、接続が切断されるので接続しなおしてください。

PRIME

音質を優先した設定。電波状況によっては、接続安定性が悪くなります。

STANDARD (初期値)

音質と接続安定性のバランスが取れた設定です。

STABLE

接続安定性を優先した設定。通信の転送レートが下がるので、他の設定より音質が低下します。

メモ

ワイヤレスオーディオモニタリングの音声は、本機で録音 / 再生する音声に対してわずかに遅れが生じます。遅延時間は周囲の環境や電波状況により変わる場合があります。

また QUALITY の設定によっても影響を受け、遅延時間の多い順に STABLE > STANDARD > PRIME となっています。

17. 各種設定

17-1. 各種情報を表示する

カード情報

MENU 画面 > SYSTEM > CARD INFORMATION
microSD カードの情報を表示します。

システム情報

MENU 画面 > SYSTEM > SYSTEM INFORMATION
ファームウェア、ハードウェアのバージョンを表示します。

17-2. 日時の再設定

MENU 画面 > SYSTEM > DATE/TIME 項目を選択して行います。操作方法は、16 ページ「日時を設定する」をご参照ください。

17-3. 出荷時の設定に初期化する

MENU 画面 > SYSTEM > SYSTEM INITIALIZE 項目を選択して行います。

メモ

「AUDIO MONITORING」の登録情報も消去されます。あらかじめペアリングしてください。

17-4. microSD カードをフォーマットする

MENU 画面 > SYSTEM > FORMAT SD 項目を選択して行います。操作方法は、16 ページ「microSD カードをフォーマット（初期化）する」をご参照ください。

17-5. オートパワーセーブ機能を使う

MENU 画面 > POWER/DISPLAY > AUTO POWER SAVE で設定します。オンにすると最後に動作あるいは操作してから 30 分経つと自動的に電源がオフになります。
OFF（初期値）/ON

メモ

本機能は停止状態でのみ、機能します。録音 / 再生中には本機能で電源がオフになることはありません。

17-6. 電源の選択

MENU 画面画面 > POWER/DISPLAY > POWER SOURCE 項目で設定します。

BATTERY

電池駆動。USB 給電はしない。

AUTO（初期値）

可能ならば USB 給電する。

注意

電池駆動を選択する場合は、必ず本体に電池を挿入してください。

メモ

本機と iOS 端末を接続する場合は、電池駆動に設定してください。

17-7. 単 3 形電池の種類を設定する（電池タイプ）

MENU 画面 > POWER/DISPLAY > BATTERY 項目で設定します。

使用する電池の種類を設定します。

この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

ALKALI（初期値）

アルカリ乾電池（初期値）

Ni-MH

ニッケル水素電池

LITHIUM

リチウム乾電池

17-8. ユーザー設定の保存と呼び出し

MENU 画面 > OTHER SETTINGS > USER SETTINGS で実行します。

すべての本体設定を保存、呼び出しが行えます。

最大 3 個保存することができます。

メモ

- 最初に何かを保存する前や SYSTEM INITIALIZE したときは、各種初期値の値がセットされています。
- 下記 3 点の設定は保存されません。
 - POWER SOURCE（BATTERY / AUTO）
 - BATTERY（ALKALI / Ni-MH / LITHIUM）
 - FILE NUMBER

17-9. パワーセーブ（省電力）モードについて

MENU 画面 > POWER/DISPLAY > POWER SAVE MODE 項目で設定します。

POWER SAVE MODE

省電力モードがオンの状態では消費電力を下げるために以下 6 つの機能が制限されます。

- 録音設定のサンプリング周波数は 48 kHz のみ選択できます。96 kHz 以上は選択できません。
- ファンタム電源はオフになります。XLR 端子にバランス接続したコンデンサーマイクは使用できません。
- ディスプレイのバックライト点灯時間は 30sec に固定されます。
- ディスプレイの明るさは MID に固定されます。
- 本体下部のインジケータの PEAK LED は点灯しません。
- ディスプレイのコントラストは 10 に固定されます。

BACKLIGHT

ディスプレイのバックライト設定。

OFF：常時消灯

5sec ～ 30sec：設定時間操作しないと自動で消灯

ALWAYS：常時点灯（初期値）

メモ

バックライト設定は、電池駆動の場合のみ有効です。USB バスパワー駆動時は常時点灯になります。

BRIGHTNESS

ディスプレイのバックライト輝度設定。

初期値は「MID」。

INDICATORS

本機の REC インジケータと PEAK インジケータの点灯動作設定。

ALL ON: REC LED と PEAK LED を点灯させます。（初期値）

PEAK LED OFF: PEAK LED を消灯させます。

REC LED OFF: REC LED を消灯させます。

ALL OFF: REC LED と PEAK LED を消灯させます。

メモ

- 省電力モードの設定がオフのときにバックライト、明るさ、インジケータの設定ができます。
- 電池駆動中で省電力モードがオンのとき、30 秒経過するとバックライトが消灯します。
ボタンを押すことで、バックライトが点灯し、操作が可能となります。

17-10. ディスプレイのコントラスト調節（コントラスト）

MENU 画面 > POWER/DISPLAY > CONTRAST 項目で設定します。

ディスプレイのコントラストを 0 から 20 の範囲で調節します。

初期値は「10」。

17. 各種設定

17-11.MENU

カテゴリ	メニュー項目	設定項目	参照ページ
REC SETTINGS	REC FORMAT	48kHz(Default)/96kHz/192kHz	33 ページ
	BIT DEPTH	24bit/32-bit float(Default)	
	REC PAUSE MODE	OFF(Default)/ON	31 ページ
	PRE REC	OFF(Default)/ON	33 ページ
	REC HOLD	OFF/ON(Default)	31 ページ
I/O SETTINGS	PHANTOM VOLTAGE	+24V/+48V(Default)	27 ページ
	MS DECODE	OFF(Default)/REC/MONITOR	28 ページ
	- WIDE	0/.../50(Default)/.../100	28 ページ
BLUETOOTH	AUDIO MONITORING	OFF(Default) / ON	52 ページ
	- QUALITY	STABLE/STANDARD(Default)/PRIME	53 ページ
	- PAIRING	EXE	52 ページ
	- DEVICE	EXE	52 ページ
	REMOTE CONTROL	OFF(Default)/ON	46 ページ
	BLUETOOTH ID	AV2----- (- : Serial No.)	47 ページ
TIMECODE	FRAME RATE	23.98/24.00/25.00/29.97/29.97DF(Default)/30.00/30.00DF/50.00/60.00	51 ページ
	MASTER	INTERNAL (Default) / TC IN (JAM) / ATOMOS	49 ページ
	TIMECODE	-- h -- m -- s -- f	51 ページ
	- CUSTOM	EXE	51 ページ
	- TIME OF DAY	RESTART	51 ページ
	INFORMATION	-- h -- m -- s -- f USER BITS : 00 00 00 00 FPS : 00.00 DEVICE : ----- (ATOMOS のみ)	51 ページ
	COUNTER VIEW	SUB(Default)/MAIN	49 ページ
	TC OUT LEVEL	OFF(Default) / LTC / MIC	50 ページ
	ATOMOS	-	47 ページ
	- CONNECT	EXE	47 ページ
	- FORGET	EXE	48 ページ
	TC MODE	OFF / FREE RUN (Default)	49 ページ
	SD CARD READER	EXE	-
OTHER SETTINGS	USER SETTINGS	-	54 ページ
	- SAVE	USER SETTINGS 1 / USER SETTINGS 2 / USER SETTINGS 3	
	- LOAD	USER SETTINGS 1 / USER SETTINGS 2 / USER SETTINGS 3	
	SLATE TONE	-	43 ページ
	- AUTO	OFF(Default)/HEAD/HEAD+TAIL	43 ページ
	- LEVEL	-12dB/-18dB(Default)/-24dB/-30dB/-36dB	43 ページ
	- OSCILLATOR	EXE	43 ページ
	MARK	-	42 ページ
	- MARK SKIP MODE	ALL(Default)/MANUAL/TIME/PEAK/BOF	42 ページ
	- TIME MARK	OFF(Default)/5min/10min/15min/30min/60min	42 ページ
- PEAK MARK	OFF(Default)/ON	42 ページ	

カテゴリ	メニュー項目	設定項目	参照ページ	
SYSTEM	FILE NAME	TEXT/DATE(Default)/UNIT NAME	36 ページ	
	- TEXT	AV2-00000(Default)	36 ページ	
	- NUMBER	EXE	37 ページ	
	DATE/TIME	EXE	16 ページ	
	UNIT NAME	アプリでの設定値を表記。設定していない場合は、“--” 表記	36 ページ	
	CARD INFORMATION	CARD		54 ページ
		- TOTAL FILE		
		- TOTLE FOLDER		
		- TOTAL SIZE		
		- USED SIZE		
	- REMAIN SIZE			
FORMAT SD	QUICK FORMAT/FULL ERASE FORMAT	16 ページ		
SYSTEM INFORMATION	SYSTEM		16 ページ	
	- F/W VERSION			
	- H/W VERSION			
	- AK-BTx VERSION			
SYSTEM INITIALIZE	EXE	54 ページ		
POWER/DISPLAY	AUTO POWER SAVE	OFF(Default)/ON	54 ページ	
	POWER SOURCE	BATTERY/AUTO(Default)	54 ページ	
	BATTERY	ALKALI(Default)/Ni-MH/LITHIUM	54 ページ	
	POWER SAVE MODE	OFF(Default)/ON	55 ページ	
	- BACKLIGHT	OFF/5sec/10sec/15sec/30sec/ALWAYS(Default)		
	- BRIGHTNESS	LOW/MID(Default)/HIGH		
	- INDICATORS	ALL ON(Default)/PEAK LED OFF / REC LED OFF/ALL OFF		
	CONTRAST	0/.../10(Default)/.../20	55 ページ	

17-12. BROWSE

メニュー項目	設定項目	参照ページ
FILE	-	40 ページ
- SELECT	-	40 ページ
- FILE DELETE	-	40 ページ
- RENAME	EXE	41 ページ
- CHANGE PROTECT	-	41 ページ
- FILE INFORMATION	FILE	41 ページ
	FORMAT	
	DATE	
	DURATION	
	TOTAL SIZE	
- MARK	EXE	41 ページ
FOLDER	-	39 ページ
- OPEN	-	
- RENAME	EXE	
- ALL FILES DELETE	-	
- FOLDER DELETE	-	

17. 各種設定

17-13. INPUT SETTINGS

メニュー項目	設定項目	参照ページ
REC LEVEL	0dB(Default)/.../ + 60.0dB (Step : 0.5dB)	58 ページ
GANG	OFF(Default)/ON	24 ページ
REC ENABLE	OFF/ON(Default)	25 ページ
INPUT	MIC(Default)/LINE/EXT/USB	25 ページ
	MIC(Default)/LINE/EXT (ST)/EXT (MONO)/USB	
STEREO LINK	OFF(Default)/ON	25 ページ
PHANTOM	OFF(Default)/ON	25 ページ
PLUG IN POWER	OFF(Default)/2.5V/5V	25 ページ
DELAY	0(Default)/.../300ms	25 ページ
LOW CUT	OFF(Default)/40Hz/80Hz/120Hz/220Hz	25 ページ
DYNAMICS	OFF(Default)/LIMITER/COMP	25 ページ
EQ	OFF(Default)/INTERVIEW/MUSIC/MANUAL(EXE)	26 ページ
NOISE GATE	OFF(Default)/LOW/MID/HIGH	26 ページ
PHASE INVERT	OFF(Default)/ON	26 ページ
MS WIDE	0/.../50(Default)/.../100	28 ページ
PRESET SAVE	PRESET1/PRESET2/PRESET3	30 ページ
PRESET LOAD	PRESET1/PRESET2/PRESET3	30 ページ

MANUAL EQ

メニュー項目	設定項目	参照ページ
LOW GAIN	- 12 dB/.../0 dB(Default)/.../ + 12 dB (Step : 1 dB)	26 ページ
LOW FREQ	32 Hz ~ 1.6 kHz (Default : 400 Hz)	
L-MID GAIN	- 12 dB/.../0 dB(Default)/.../ + 12 dB (Step : 1 dB)	
L-MID FREQ	32 Hz ~ 18.0 kHz (Default : 1.7 kHz)	
L-MID Q	0.25/0.5/1.00/2.00(Default)/4.00/8.00/16.00	
H-MID GAIN	- 12 dB/.../0 dB(Default)/.../ + 12 dB (Step : 1 dB)	
H-MID FREQ	32 Hz ~ 18.0 kHz (Default : 1.7 kHz)	
H-MID Q	0.25/0.5/1.00/2.00(Default)/4.00/8.00/16.00	
HIGH GAIN	- 12 dB/.../0 dB(Default)/.../ + 12 dB (Step : 1 dB)	
HIGH FREQ	1.7 kHz ~ 18.0 kHz (Default : 5.5 kHz)	

17-14. OUTPUT SETTINGS

メニュー項目	設定項目	参照ページ
OUTPUT LEVEL		29 ページ
- L	-60.0dB/.../0.0dB(Default) (Step : 0.5dB)	
- R	-60.0dB/.../0.0dB(Default) (Step : 0.5dB)	
GANG	OFF/ON(Default)	29 ページ
OUTPUT	MONO(Default)/STEREO	29 ページ
- LINE OUT	LINE(Default)/CAMERA	43 ページ
- SOLO	OFF(Default)/CH 1/CH 2	33 ページ
MS WIDE	0/.../50(Default)/.../100	29 ページ
LIMITER	OFF(Default)/ON	29 ページ
DELAY	0(Default)/.../300ms	29 ページ

18. メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。

FR-AV2 では、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
No Card	microSD カードをセットしてください。
Card Error	microSD カードを認識できません。 microSD カードを交換してください。
Card Full	microSD カードの残容量がありません。
Format Error Format Card	microSD カードが正常にフォーマットされていないか、microSD カードが壊れている可能性があります。 画面をタップすると、フォーマットを実行します。 フォーマットを実行すると、microSD カード内のデータは全て消去されます。
Invalid Card Change Card	microSD カードが正常でない可能性があります。 microSD カードを交換してください。
MBR ERROR Init CARD	microSD カードが正常にフォーマットされていないか、microSD カードが壊れている可能性があります。 画面をタップすると、フォーマットを実行します。 フォーマットを実行すると、microSD カード内のデータは全て消去されます。 フォーマットが実行できない場合は、microSD カードを交換してください。
Write error Recording will continue	microSD カードへの書き込みが間に合いませんでした。これにより音声の不連続になり、ノイズが発生します。 この不連続点には、BOF マークが付けられません。
Card slow Check BOF mark	microSD カードへの書き込み性能が低下しています。 microSD カードへの書き込みが間に合わず、発生した不連続点には BOF マークが付いています。 BOF マーク付近の音声を確認してください。 イレースフォーマットを実行するか、microSD カードを交換してください。
Invalid SysFile Make Sys File	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常ではありません。 画面をタップして、システムファイルを作成してください。
Non- Supported	取り扱い可能なファイル形式については、リファレンスマニュアルをご覧ください。(62 ページ)
File Num Full	フォルダーとファイルの総数が制限値(1000 個)を超えるため、録音できません。
File Not Found	ファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。 対象のファイルを確認してください。
Cannot delete because file protected	消去する場合は、ファイルのプロテクトを解除してください。

メッセージ	内容と対処方法
Can' t delete Not empty	ファイルを含むフォルダーを消去することはできません。 フォルダーに含まれるファイルを全て消去してから再度実行してください。
Adding marks not possible because file protected	ファイルが書き込み禁止であるためマークを付けることができません。 マークを設定したい場合は、ファイルのプロテクトを解除してください。
Can' t MARK File length	ファイルが短すぎてマークを付けることができません。
File error	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れ直してください。
Error occurred	電源を切ることができない場合は、電池や別売の専用 AC アダプター (TASCAM PS-P520U) を取り外してください。
Playback Error	これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。
Writing Failed	これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。
System error AA (AA is a number)	これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。
USB FS Mismatch	本機のサンプリング周波数と、パソコン USB オーディオインターフェースのサンプリング周波数が一致していません。 どちらかの設定を変更し、サンプリング周波数を一致させてください。
Battery is overheated. Change to USB power supply.	単 3 形電池を使用している状態で内部温度が上昇しています。USB 接続で電源を供給すると継続使用できます。
Device is overheated. Turn off the power.	内部温度が上昇しています。自動的にシステムをシャットダウンします。
No track selected	録音トラックが選択されていません。 入力画面で録音するトラックの入力をオンして下さい。(25 ページ)

19. トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の確認を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

電源がオンにならない

- 電池が正しくセットされているか確認してください。
- 別売の専用 AC アダプター（TASCAM PS-P520U）の電源プラグ、および USB コネクタがしっかりと差し込まれているか確認してください。USB ハブを経由すると正しく動作しない場合があります。

電源が自動的に切れてしまう

- オートパワーセーブ機能が設定されていないか確認してください。
 - オートパワーセーブ機能のオン/オフは、MENU 画面 > POWER/DISPLAY > AUTO POWER SAVE 項目から操作できます。（54 ページ「17-5. オートパワーセーブ機能を使う」）

本機で操作できない

- 画面表示が SD カードリーダーのときは操作できません。

microSD カードを認識しない

- microSD カードがしっかりと挿入されているか確認してください。
- お手持ちのパソコンでフォーマットしてから再度挿入してみてください。

音が出ない

- 本機のヘッドホン出力レベルを確認してください。
- モニターシステムの接続、およびモニターシステム側の音量を確認してください。

録音できない

- microSD カードに十分な空き容量があることを確認してください。
- ファイル総数が 1000 ファイルに達すると録音できなくなります。

入力音が非常に小さい、もしくは非常に大きい

- 録音レベルの設定を確認してください。（24 ページ「録音レベルを調節する（REC LEVEL）」）
- 接続した外部機器の出力レベルを確認してください。

ファイルが消去できない

- プロテクト（読み取り専用）されているファイルは、消去できません。

パソコン上に本機のファイルが表示されない

- 本機が USB 端子経由でパソコンに正しく接続されているか確認してください。USB ハブ経由で接続すると、正しく動作しない場合があります。
- パソコンから本機のファイルを表示するには、本機とパソコンを USB ケーブルで接続した上で、MENU 画面から操作する必要があります。（→ 44 ページ「13-3. パソコンから microSD カードにアクセスする」）

ノイズが入る

- 本機の近くに携帯電話・テレビ・ラジオやパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器があると、本機あるいは周辺機器で雑音が発生することがあります。

ヘッドホンの音が小さい

- Ω （ヘッドホン）ボリュームの+ボタンを押してください。（21 ページ「5-5. ヘッドホン出力の音量を調節する」）

日付 / 時刻が正しくない

- MENU 画面 > SYSTEM > DATE/TIME 項目から再設定できます。（16 ページ「日時を設定する」）

MENU 画面に切り換えられない

- 録音中、録音待機中、再生中、一時停止中に MENU 画面は表示できません。■ / HOME ボタンを押して停止し、F1 [MENU] ボタンを押してください。

ファイルを認識しない

- ファイル総数が 1000 を越えると正しくファイルを正しく認識できなくなります。
- 3 階層以上のフォルダーは表示できません。
- 本機では、SOUND フォルダ以外のファイルは表示しません。（37 ページ）
- BWF フォーマットを含む wav ファイルのみ表示します。
- ファイルが壊れていると、本機で正しく表示できません。

電池の減りが早い

下記を試してみてください。

- バックライトの時間を短くする（55 ページ「17-9. パワーセーブ（省電力）モードについて」）
- インジケーターを全てオフにする（55 ページ「17-9. パワーセーブ（省電力）モードについて」）
- 明るさを下げる（55 ページ「17-9. パワーセーブ（省電力）モードについて」）
- コントラストを下げる（55 ページ「17-9. パワーセーブ（省電力）モードについて」）
- 録音待機機能をオンにする（31 ページ「7-1. 録音について」）
- （ヘッドホン/スピーカー）ボリュームを下げる
- 使用していない入出力機器を抜く

画面が暗い

- バックライトを常時点灯にする（55 ページ「17-9. パワーセーブ（省電力）モードについて」）

メモ

MENU 画面 > POWER/DISPLAY・BACKLIGHT 設定を「OFF」にしていると常に暗くなります。

Bluetooth による音声モニタリングの音が小さい (AK-BT2 使用時)

- Bluetooth ヘッドホンやスピーカーの音量が下がっている場合があります。それら进行操作して音量を大きくしてください。
- Ω (ヘッドホン) ボリュームの+ボタン押してください。(21 ページ「5-5. ヘッドホン出力の音量を調節する」)

音声モニタリングの Bluetooth 機器に接続できない (AK-BT2 使用時)

- Bluetooth 機器が接続可能状態になっているか確認してください。
- 本機との距離が離れていると、ペアリングできないことがあります。Bluetooth 機器を本機近くに置いて操作してください。
- ペアリング情報が消えてないか確認してください。消えていたら、再度ペアリング操作をしてください。
- Bluetooth 機器の状況によっては、本機と接続できないことがあります。Bluetooth 機器の電源を入れて再接続してください。再接続しない場合は、本機の接続操作を行ってください。

20.仕様

20-1.仕様／定格

レコーダー部仕様

記録メディア

- microSD カード (64 MB ~ 2 GB)
- microSDHC カード (4 GB ~ 32 GB)
- microSDXC カード (48 GB ~ 512 GB)

録音再生フォーマット

WAV (BWF) : 48 / 96 / 192 kHz、24-bit/32-bit float

チャンネル数

- 録音再生トラック数
- 最大 2 トラック

アナログオーディオ入力定格

マイク / ライン入力端子 1/2 (バランス)

コネクタ: XLR/TRS コンボジャックタイプ

XLR3-31 相当 (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)

- MIC 入力選択時のみファンタム電源に対応
- 6.3 mm TRS 標準ジャック (バランス)
(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)
- TRS 端子はファンタム電源に非対応

MIC 入力選択時

- 最大入力レベル : +4 dBu
- 最小入力レベル : - 76 dBu
- 入力インピーダンス : 2.0 k Ω 以上
- ファンタム電源 : +24 V / +48 V (MIC 入力選択時に選択可)

LINE 入力選択時

- 最大入力レベル : + 24 dBu
- 規定入力レベル : +4 dBu (GAIN 設定最小)
- 入力インピーダンス : 8 k Ω 以上

ライン入力 (アンバランス) : / EXT / TC IN 端子 (プラグインパワー対応)

コネクタ: φ 3.5mm (1/8") ステレオミニジャック

-  / EXT (Tip : Lch、Ring : Rch、Sleeve : GND)
- 最大入力レベル : 1 dBV
- 規定入力レベル : - 19 dBV (GAIN 設定最小)
- 最小入力レベル : - 79 dBV
- 入力インピーダンス : 6 k Ω 以上 (プラグインパワー OFF 時)
- 1.6 k Ω 以上 (プラグインパワー ON 時)
- プラグインパワー : +2.5V / +5.0V


TC IN (tip : Timecode IN、ring : -、sleeve : GND)

- 入力インピーダンス 10 k Ω 以上
- 入力レベル : 0.5Vp-p ~ 5.0Vp-p

アナログオーディオ出力定格

ライン出力 (アンバランス) : / LINE / TC OUT 端子

コネクタ: φ 3.5 mm (1/8") ステレオミニジャック

-  / LINE (Tip : Lch、Ring : Rch、Sleeve : GND)
- 出力インピーダンス : 210 Ω
- 規定出力レベル : -10 dBV (-16dBFS を基準とした場合)
- 最大出力レベル : +6 dBV

TC OUT

LTC 選択時

- (tip : Timecode OUT、ring : -、sleeve : GND)
- 出力インピーダンス : 1.0 k Ω
- 出力レベル : 1.8 Vpp

MIC 選択時

- (tip : Timecode OUT、ring : Rch、sleeve : GND)
- 出力インピーダンス : 110 Ω
- 出力レベル : 50 mVpp

- 0 dBu = 0.775 Vrms
- 0 dBV = 1 Vrms

ヘッドホン出力: ヘッドホン端子

コネクタ: φ 3.5 mm (1/8") ステレオミニジャック

- 最大出力 : 50 mW + 50 mW (THD + N 0.1% 以下、32 Ω 負荷時)
- 推奨ヘッドフォンインピーダンス : 16 ~ 400 Ω

USB

端子 : USB Type-C

転送速度 : USB2.0 High-Speed

デバイスクラス : マストレージクラス / USB オーディオクラス 2.0
(USB クラスコンプライアント)

USB オーディオ

サンプリング周波数

48 / 96 kHz

量子化ビット深度 : 24-bit/32-bit float

入力数 : 2 チャンネル (本機からの出力)

出力数 : 2 チャンネル (本機への入力)

タイムコード入力 / 出力

フォーマット : SMPTE ST 12-1 準拠

フレームレート :

23.98、24、25(50)、29.97(59.94)、29.97DF(59.94DF)、30(60) fps *

* 50fps 以上のハイフレームレート動画には、半分のフレームレートのタイムコードを使用します。

Bluetooth 機器接続端子

Bluetooth アダプター (AK-BT2) 専用

オーディオ性能

マイクアンプ EIN (入力換算雑音)

- 127 dBu 以下

周波数特性

入力端子 1/2 端子 → PCM データ

48 kHz 時 20-20 kHz : +0 dB / - 0.5 dB

96 kHz 時 20-40 kHz : +0.5 dB / - 1.0 dB

192 kHz 時 20-60 kHz : +0.5 dB / - 3.0 dB

ダイナミックレンジ

入力端子 1/2 → PCM データ (20 kHz LPF + A-Weight、JEITA)

132 dB 以上

全高調波歪率 (THD+N)

入力端子 1/2 (LINE/MIC IN) → PCM データ (1 kHz サイン波、

-2 dBFS 入力、REC レベル最小設定、20 kHz LPF、JEITA)

0.02% 以下

注) JEITA : JEITA CP-2150 準拠

録音時間

ファイルフォーマット (録音時の設定)		カード容量	
		32 GB (microSDHC)	128 GB (microSDXC)
WAV 24-bit (ステレオリンク: オン)	48 kHz	30 時間 50 分	123 時間 26 分
WAV 24-bit (ステレオリンク: オン)	96 kHz	15 時間 25 分	61 時間 43 分
WAV 24-bit (ステレオリンク: オン)	192 kHz	7 時間 42 分	30 時間 51 分
WAV 32-bit float (ステレオリンク: オン)	48 kHz	23 時間 8 分	92 時間 32 分
WAV 32-bit float (ステレオリンク: オン)	96 kHz	11 時間 34 分	46 時間 16 分
WAV 32-bit float (ステレオリンク: オン)	192 kHz	5 時間 47 分	23 時間 8 分

- 上記録音時間は理論値であり、ご使用の microSD カードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、microSD カードに可能な録音合計時間です。
- ステレオリンク: オフで、1つのチャンネルのみ録音の場合は、上記録音時間の約 2 倍の時間となります。

OS/ 動作条件

最新の対応 OS 状況については、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) ご確認ください。

注意

各 OS での動作確認は、下記のシステム条件を満たす標準的な環境での結果になります。

下記の条件を満たす環境であっても動作を保証するものではありません。

FR-AV2

Windows

対応 OS

Windows 11

Windows 10 64-bit

対応パソコン

USB 2.0 以上を装備した Windows 対応パソコン

- 当社製ドライバー使用時 ARM64 CPU は動作保証外

Mac

対応 OS

macOS 14 Sonoma

macOS 13 Ventura

対応パソコン

USB 2.0 以上を装備した Mac

iOS/iPadOS デバイス

iOS 17/iPadOS 17

iOS 16/iPadOS 16

TASCAM RECORDER CONNECT

iOS/iPadOS デバイス

iOS 17 / iPadOS 17

iOS 16 / iPadOS 16

Android デバイス

Android 14

Android 13

Android 12

- 互換性があることを確認していますが、全ての端末での動作を保証するものではありません。

20. 仕様

一般

電源

単 3 形電池 3 本（アルカリ乾電池、ニッケル水素電池またはリチウム乾電池）
パソコンからの USB バスパワー
専用 AC アダプター（TASCAM PS-P520U、別売）

消費電力

3.8 W（最大時）

電池持続時間（連続使用時）

- アルカリ乾電池（EVOLTA）使用時

使用条件	持続時間
入力端子 1/2 入力 ファンタム電源未使用 STEREO WAV（BWF）／ 48 kHz 24-bit で録音	約 9 時間
入力端子 1/2 入力 ファンタム電源使用時（+48V、負荷：3mA x2） STEREO WAV（BWF）／ 48 kHz 32-bit float で録音	約 4 時間 30 分

- ニッケル水素電池（eneloop）使用時

使用条件	持続時間
入力端子 1/2 入力 ファンタム電源未使用 STEREO WAV（BWF）／ 48 kHz 24-bit で録音	約 8 時間 30 分
入力端子 1/2 入力 ファンタム電源使用時（+48V、負荷：3mA x2） STEREO WAV（BWF）／ 48 kHz 32-bit float で録音	約 5 時間 30 分

- リチウム乾電池（Energizer ULTIMATE LITHIUM）使用時

使用条件	持続時間
入力端子 1/2 入力 ファンタム電源未使用 STEREO WAV（BWF）／ 48 kHz 24-bit で録音	約 15 時間
入力端子 1/2 入力 ファンタム電源使用時（+48V、負荷：3mA x2） STEREO WAV（BWF）／ 48 kHz 32-bit float で録音	約 10 時間

メモ

ファンタム電源を使用時には、ご使用になるマイクにより持続時間が短くなる場合があります。

外形寸法

99 x 80.4 x 40.3 mm（幅 x 高さ x 奥行き、突起を含む）

質量

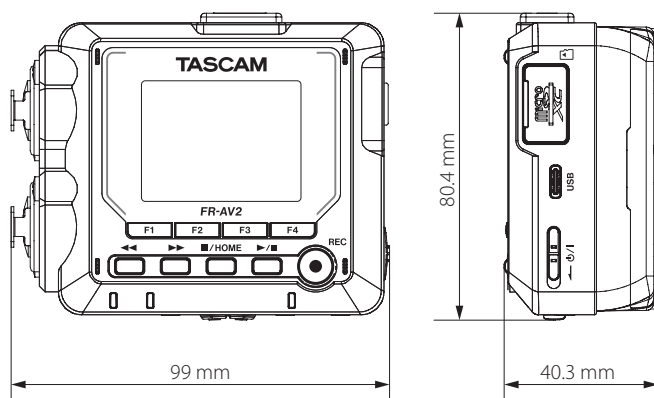
267 g/195 g（電池を含む／電池を含まず）

動作温度

0 ~ 40 °C

- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

20-2. 寸法図



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP 電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP 電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。